別紙1 規制等

(1) 都市計画区域 • 內

(2) 計画道路 ●無

(3) 市街化調整区域 ●内

(5) 防火地域 ●指定無

(6) その他の地区指定 ●建築基準法第22条指定区域内

(7) 日影に関する条例、電波障害、その他の指導事項 ●無

(8) 騒音、振動規制 ●指定区域外

但し、本施設は下記基準を満足すること。

・騒音規制基準

時間帯	基準値
朝(午前6時から午前8時まで)	60 dB
昼間(午前8時から午後6時まで)	65 dB
夕(午後 6 時から午後 10 時まで)	00 db
夜間(午後 10 時から午前 6 時)	55 dB

・振動規制基準

時間帯	基準値
朝(午前8時から午後7時まで)	65 dB
夜間(午後7時から午前8時まで)	60 dB

(9) 悪臭規制基準

特定悪臭物質	濃度 (ppm)	備考
アンモニア	1	
メチルメルカプタン	0. 002	
硫化水素	0.02	
硫化メチル	0.01	
二硫化メチル	0.009	
トリメチルアミン	0.005	

なお、本施設外壁から 5mの位置(4 か所)および脱臭装置排気口、換気口、脱臭設備出口など建屋からの排出口において上表の臭気強度 2.5 (臭気指数 15) 以下を遵守すること。

汚泥をトラック搬送する場合、トラックから 5m の位置において上記の排出口基準を満足すること。

(10) 排出ガス基準

伝熱面積 10m²以上及び燃焼能力 50L/時以上の温水ボイラー等にて加温等を行う必要がある場合、 以下の基準を満足すること。

項目	規制値	備考
硫黄酸化物	次式により算出された値を許容限度とする。 q=K×10 ⁻³ He ² q:硫黄酸化物の許容排出量 (単位:温度零度・圧力1気圧の状態に換 算したm ³ 毎時) K:地域別に定める定数 He:補正された排出口の高さ (煙突実高+煙上昇高)	
窒素酸化物	使用する装置は大気汚染防止法に順守のこと。	
ばいじん	使用する装置は大気汚染防止法に順守のこと。	

(11) 敷地条件

- ① 敷地面積 172,000 m²
- ② 敷地の高低等
 - ・高低差
 ●無
 - がけ指定●無
- ③ 地形状況

候補地	設計地盤高(GL)(m)	平均地盤高(m)
候補地 A	20.70	20.49
候補地 B	19.70	20.05
候補地 C	19.70	19.61

※本事業において、必ずしも設計地盤高に整地する必要はなく、維持管理性等を考慮して 地盤高さを決定すること。

- ④ 土質
 - ・近隣の土質調査 ●有
 - ・近隣建物の基礎形状 ●直接基礎
- ⑤ 敷地境界石

無

- ⑥ 盛土、整地、土留等の必要性 ●無
- ⑦ ガス ④プロパンガス
- ⑧ 上水 ⊙水道水
- ⑨ 障害物 ●埋設配管など (候補地による)
- ⑩ 敷地の前歴 ・水田 ・果樹園
- ⑪ 車の進入路(工事用道路も考慮) ●場内道路

② 事務所用地、作業場の確保 ●敷地内

③ 搬出土等の処分地 ●有

④有(敷地内)工事予定敷地内での仮置きは可能。

15 対策浸水深

候補地	対策浸水深(m)
候補地 A	1.39
候補地 B	1.83
候補地 C	2.27

(11) 気象 (アメダス弘前 2020 年)

① 最多風向 夏季:南、冬季:西

② 気温

 年平均気温
 最高気温
 最低気温
 年間降水量
 最深積雪量

 11.5度
 34.4度(8月)
 -8.2度(12月)
 1433.5mm
 73cm(2月)

③ 凍結深度 57cm $(Z=C\sqrt{F}=3\sim5\times\sqrt{155}=37.3\sim62.2\Rightarrow57cm)$

Z:凍結震度 [cm]

F: 凍結指数 [℃・days] (弘前 155)

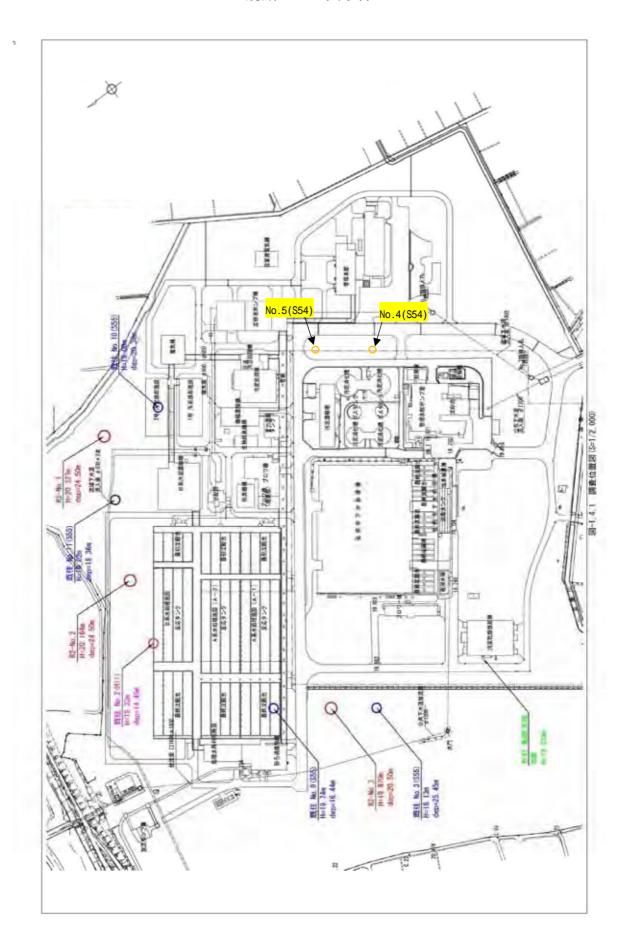
C:係数 [3~5]

※凍結深度は「別紙16 既設舗装構成」の凍結深度57cmを採用する。

※基礎設計において建築主事へ確認を行うこと。

- ④ 積雪 構造計算用積雪荷重 130 cm以上、単位重量 30N/m²/cm (長期荷重として考慮する)
- ⑤ 起こりやすい災害 ●雪 ●雷
- ⑥ 塩害地域の考慮 ●不要(直線距離:陸奥湾まで≒30km、日本海まで≒27km)

別紙2 土質条件



ボーリング柱状図

					調	垄	ξ	í	名 流1下委第4号岩木	けげ済	花垣	tŀ	水	道岩	木川	争化	センタ	Jelo	質調	査業務	委託		7	ドーリ	ングN	0 1	1		\neg	T	
					事業	ţ.	Ιį	事名	ž														- 1		シー	1 1 1	1	٠	.	ı	1 1
ボー	リン	グ名			R 2 -	- N o	. 1		調査位置					吉森	県	以育	介市人	字》	# 賀	野地内	9				北	緯 4		38	,	56.	29"
発	注 柞	幾 関			背 森	県・	₽ı‡	地	1 城 県 民 局 地 城 整 備 部	K			Ē	周査	期間	合	和 2年	= 1:	2月	22 🗇	~ 3	年	1月	7 П	東	経 1	40°	2	9,	9.	69"
調査	業	者名		7		1.7 -		1 -	6111) 土住技師 立	井	毅		1	見 七 理	場		笠井	毅		コニア監定者			桜里		ボー! 責 f	リング £ 者_	1	左直	泰雅	à樹	
孔	□ #	票高	20	H- . 327m	角	180 ±) 9		方 北 0 地	<u>k</u> #0		使用機	-	式 翁	i 機		-	東邦	D 1 -	- B 4 8			ンマ 下用			<u></u> 半 6	自動	落	下 —		
総	掘	佳 長	2	1.50m	度	6 0			西			機種	=	ェン	ジン		t	ンマ	- 1	N F D 1 ()	ポ	ン	プ		東	ß B G	- 3	В		
標	標	層	深	柱	±	色	相	相	記		孔内					標	準	貫	入:	試 験				原	位. 置	武武	演試	料-	採P		氧 掘
					質		対	刘			水位			em 🍼 !	1 2	注			N	folds:				深	試わり	験 名 : び結果		き言	大杉	采言	村代 進
尺	Ä	厚	度	状							(m) 			撃 ⊒ 10	- 10	女			N_					度	100	O'Mar at] 度		1		-
					K		480	槆			測定品	ľ			1 3	VI.								-			"		計力	5	Н
(m)	(m)	(m)	(m)	⊠ ○:○:⊄	分	調	度	度	事		月日	(m	10	20	30 (0	ik m)	0	10	20	30	40	50	60	(m)			(n) 5	글	<u> </u>	- 0
1					シルト記典	無秘	級い		含水少ない、			Li	5 2	3	5 1	0 10						_						5 1.		原用水料	K 含
2.	18.23	2.10	2.10	% % % %	施工							1.6 2.1		1	2	1 4		1	+			4					1.4	.5		7,81	-
3.	17.23	1.00	3.10		機のシ 製のシ 楽士	班灰			料性含水中位。砂及びφ5~40m程 の円碟~並円碟が混じる。不均質。			2.4 3.1		1	1	3						_					- 3.1	5		1011	ro 12
4	16.18	0.75	3,85	0:0:0	シルト	昭掲 灰		歌らかい	粘性強く含水少ない。3.75m付近細 砂が貼入、色調不規則で不均質。			3,4		4		3	1										3.4	5	2 6	3 87	12 21
5										1	2/2/ 5,20	4.4	8	+	6 1	0 I		1													
6				0.0.0							1/7	5.4	-	6		9	6	1	1												
				0000		745	ф		合水中位。65~30mm程の円機~亜 円機が主でマトリックスは中砂~組	D .	_	6.4	5		3	0 1	9		1												
7				0000	89 88	灰社	位のと		5,80m付近まで継続が多い。 5,80m以深より所次色を量し機径が φ50mm程と大きくなる。 6,50~6,70m間、細砂~中砂が多く			7.4		6		0 2	3)	D											
- 8				0.000		灰	密な		6,50~6,70m間、細砂~中砂が多く 港じる。 7,90m付近より全逸水する。 9,20m付近より細砂の混入最が多い。			8.1		6		7 0 I	7		<								8.1	1.15	·3 G	多 線	語記
9									9.20m付近より制度の混入量が多い。			9.1	5 6	7	8 2	0 2	1		1			+									
10				0000								10.1	5 6	8	9 2	3 2	3		1			+									
- 11	9.03	7.45	11.30	0.0.0								10.4		1 16	12 3				-	-	6	-						10		- 81	28
12	8.63	0.40	11.70	0.0.0	A169	暗灰	密な		含水中位。中砂及びる20mm程の重角 機が混じり不均一。			11.4		3 15	16 4	4					1						11,	ő	4 6	Ð 858 858	換
13				9850								12.4		5 15		0 4	•				_/										12
14				0000								13.4	15) 11		0 4	1				1										25
				0.000								14.4	15		- 3	0 3	7				4										
15				9500								15.1	15	+	Í	0 5	0					\geq									
16				0000								16.4) 11		0 3	2			1		\top									12° 28
17				0.000	平石	暗	中位の		合水中位。610~50mm役の円機~亜 角機が中でマトリックスは中砂~粗砂。			17,1	5 6	7	12 2	5 0 2	5			1		+					17,	110	·5 E	○ 素質	金
18				950	語 じ り	灰 と 暗	1 非常		所々に 650~60mm程の安山岩質玉石 が起じる。 12.00m付近より暗線灰色を呈し、1	5		18,1	5 7	9	13 2	9 2	9		+	$\overline{}$		+									
19				0000	移機	秋火	に密		が起じる。 12.00m付近より暗線灰色を呈し、1 4.00m付近は逸水する。 17.10~17.30m間は納砂が映み含水 多い。 20.00m付近よりシルトが返じる。			19.1	5 7	16		5 0 3	5		+	\rightarrow	Þ	+									12 28
20				0.000			te		NAME OF THE PARTY			19.4 20.1		10	13 3			-	+	_/		+		-							200
21												20.4	100	17	19 8	0			_			4									
22				00000								21.4	١	2 18		5 6]									
				0.000								22.4	15	+		0 4	4				1										6
23				98500 98500								23.1	15		- 3	0 3	5			0	\langle										
- 24	-1.17	12.80	24.50	0000								31	5 17	7 17		7 0 4	7					8									17

No.2(R2)

				調	垄	È.	1	名 流1下委第4号岩木	川流	域	下?	水道 岩	未り	浄イ	化七	:ンタ-	-地質	調査業	終務委(<u>Æ</u>	-	ボーリ	レ!	ე No 2				Γ	Ţ	
				事業	ŧ •	I	事名	名												_			シ・	— ⊦No	2	2				
ボー	-リン	グ名		R 2 -	o K	. 2		調査位置				青	森児	机	前	市大日	产津 :	賀野力	地内				北	緯	40	3	8'	5 8	3.2	6 <i>"</i>
発	注析	隻 関						也 城 県 民 局 地 城 整 備 部	R			調査	期間	間合	介和	3 年	1月	14 Γ	ı ~	3年 1	月 2	25 ∏	東	経	140) " :	29,	4	i. 8	l"
調1	業金	者 名			17-		1 -	6111) TIT (X PI)	井 蓊	ż		現代	理。	場人		笠井家	炭	盤に	アと		桜里			-リング 任 者		件.	藤	雅相	Ħ	
孔	ㅁᅧ	高	H= 20, 164m	角		<u>}</u> 9		方 北 0 地 270° 7 90° 整 公生	k 40°		使用以	武	錐札	幾		東	邦D	1 - B 4	18		トンマ			半	Ħ £	動落	汗			
総	掘	生 長	24.50m	度	F:1	.′		西			機 種	エン	/ジ:	ン		ヤン	7.	·NFI	010	र्ग	・ン	プ		東	邦I	3 G -	3 B			
標	標	層	深住	+	色	柏	相	 記	ł					,	標	準 #	t 入	/病	験			原	位	置 武	驗	試彩	1 ##	ΗΔ	室	掘
	914		,,,,						オが	k	深	10em C	じらの	打榔								深	試		名	深		_	内試	
尺	高	厚	度 状	質		对	対		(n	n)		打攀		刺数				N	値				<i>‡</i> 3	よび結	果八		料	取	験へ	進
				区		密	稝		海过	43	度	0 10		Ħ								度				度	番	カ		刀
(m)	(m)	(m)	(m) ×	分	調	度	度	事	F	3 l	(m)	10.20		人 量 (cm)	. 6	. 10		90	30	40 54	b 64	(m)			7	(m)	뮥	法	-	П
			/-	機能じり粘土	昭秘			粘性、含水共に中位。 65~30mm程の 東円篠~亜角礫が混じる。															П							
- 1	18,96	1.20	1.20	· 學工	HC)	H	1148	部分的に機量多く砂礫沢を呈す。	}		1.45	2 3	2	7 30	7	Ŷ							ŀ							
- 2	18.16	0.80	2.00	土 盛土 砂質粘			めら	, 料格強く含水少ない。 機細砂が混じり φ10~50mm程のコン クリート片及び角礁点在。 *粘体強く含水中位。微細砂が混じ	1		2,15	1 1	2	1 30	4							-	-			2.15	2-1	Θ.	物度全	-
- 3	17.46	0.70	2.70	土 粘土混じり砂	_	非常に経	75-4.7	、る。 含水少ない。細胞が主で不規則に粘 土が混じる。不均一。			2.45 3.15	1 1	ı	3	3	\perp							-			2.46				
4	16.61	0.85	3.56	i#	R\$	中位		含水少ない。中砂が多く混じり不均	7		3,45	3 4	5	30 12	3								.			3.45		Θ,		١,.
	15,66	0.95	4.50	-	掲	0			1/1	15	1,15			30	12		1									1,15	2=3	Θ	密度さ 水総度	14
- 5			0000						=		5,15	1 5	6	15 30	15		f													
- 6			0.00								6,15 6,45	5 6	8	19 30	19		>						ŀ							
- 7			0.000		裕			含水中位~多い。			7.15	4 6	7	17 30	17		1						-			7.15	2-4	Θ.	岩はさ	-
- 8			0.00	砂糖	BE -}	中位		で、マトリックスは44秒~程砂。 部分的に粘土が混じる。 5分的に粘土が混じる。 5.70歳以深、暗縁灰色を呈す。 8.20m付近に木片が点在。 8.55~8.80m間に木片を挟む。 0.004分に上り物ェナス			7.45 8.13	2 4	6	12			/						-			7.45			*-48.04	
- 9			0.00	**	暗緑灰	n		8.55~8.80m間に木片を挟む。 9.00m付近より漁水する。 10.00~10.20m間に組修が決む。 11.40m付近に木片点在。			8.45 9.15	5 7	7	30	12		/						.							
10			0.00		0.			11.40m付近に本片点在。			9.45		6	30	19		7													15
- 10			0000								10,15		+	30	13		4													
- 11	8.66	7.00	11.50								11.15		3	14 30	14		1						ŀ							
- 12			0000								12.15	8 1	11	33 30	33				9				ŀ							
13			0.00								12.45 13.15		3 12	40	40															1
- 14			960								13.45	19 8	10	30	40								.							18
			0.00								14.45		11	30 28	37				1											
- 15			980								15.15 15.45			30	28			1								15.15	2-5	Θ.	密度さ 水程度	
- 16			9000								16.15 16.45	6 7	7	20 30	20		(1	l							1 20
- 17			0.000	モ石		中位		含水中位。 65~40mm程の亜円鍵~亜角礎が主 で、マトリックスは中砂~相砂。 所々に 650~60mm程の安山岩質等の			12,15		3 10	36 30	36				>			-	1							-
18			96.0	温して	線線	0		玉石が値じる。 15 00~16 00m間は今本名く 後水			17.46 18.15	9 9	11	29	29				\vdash				-							
- 19			0000	砂礁	灰	密な		する。 18.30m付近含水多く、進水する。砂 及びシルト分が混じる。 23.65~23.80m間に粘土を挟む。			18.45 19.15		2 21	44				<u> </u>					[].							1-
			0.00				23. 65~23. 80m間に粘上を挟む。			19.45		6 10	30 48	44					1										21	
- 20			200								20.45		+	30	48					>										
- 21			0000								21.15	1	1 15	37 30	37				9				1							
- 22			90.0								22.15	12 1	8 11	41 30	41				 '			-	1							-
- 23			0000								22.45 23.15		13	34					/											
- 24			0.000								23.45		2 15	41	34				1											
24	-1.34	13.00	24.50 970	1						ı	Sink.				41					6			П				.			1 22

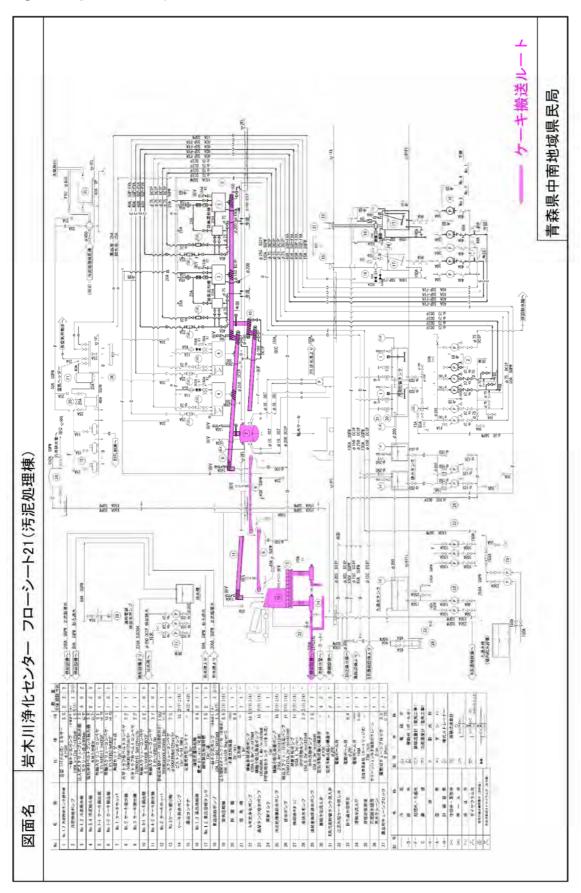
ボーリング柱状図

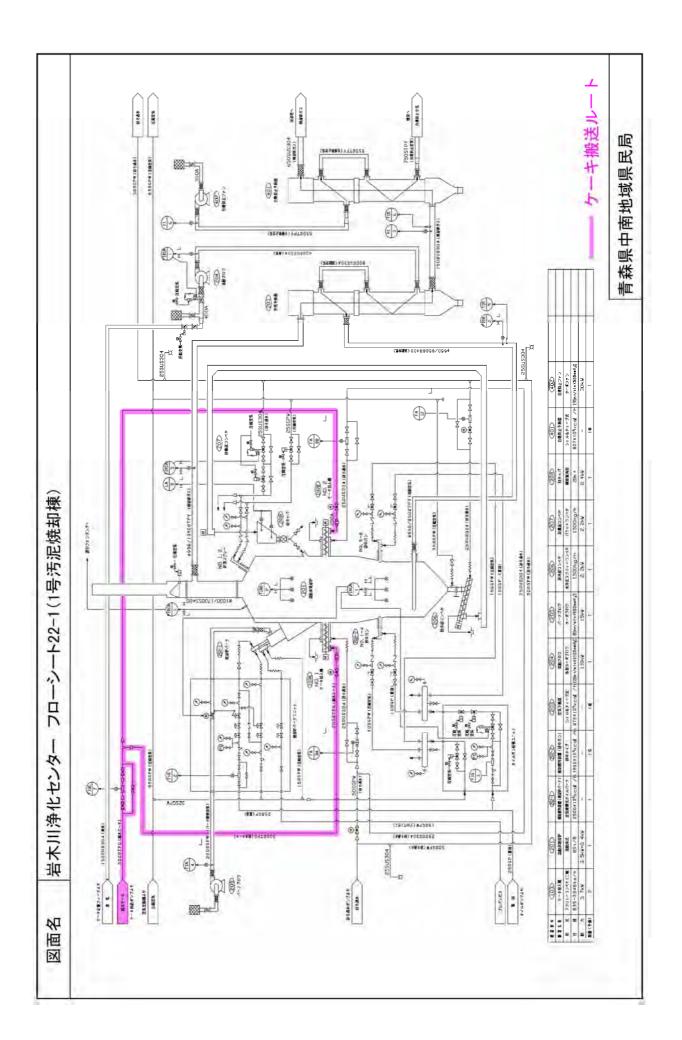
調査名 流1下委第4号岩木川流域下水道岩木川浄化センター地質調査業務委託 ボーリングNo 3 事業・工事名 北 緯 40 38 55.33 ボーリング名 R 2 - No. 3 調査位置 青森県弘前市大字津賀野地内 調査期間 令和 3年 1月 26日 ~ 3年 2月 2日 東 経 140 28 56.96 発注機関 青森県中南地域県民局地域整備部 現 場代理人 ボーリング 佐藤雅樹 ハンマー 落下用具 使用機種 エンジン 東邦D1-B48 孔口標高 H-半自動落下 総掘進長 20.50m ヤンマーNFD10 東邦BG-3B ボンプ 原位置試験試料採取室掘 標標層深 土 色 和 和 標準貰入試験 柱 深 10cmごとの 打 撃 進 対対 質 打撃回数 中 度 0 10 20 数 (m) 尺 高 厚 度 状 月 区 密網 (m) (m) (m) X 分 調 度 度 (m) 身 法, ~ 日 (m) 0.20mまでも5~30mm程の砕石。0.35 ~0.60m間コンクリートガラ。 熱性、含水中位。630mm以下の亜円 嫌が提じる。 19.07 0.80 0.80 - 模拟に り粘土 係土 Li5 1 1 1 3 30 3 3 1.45 1 1 2 4 30 4 30 4 3.00 0 0 0 軟 粘性中心、含水少ない。45~40mm門 ら の亜円線及びコンクリート片が混じ か る。 細砂が混じり不均質。 17.17 1.90 2.70 16.87 0.30 3.00 2.15 3-1 ① 整度公 水板度 含水少ない。微細砂が混じり不均 3.50 ハンマー自2 50 非常 和性中位で含水多い。基質はシルトに軟で蓄極物が多く混じる。 らか・ 輸に補砂をブロック状に挟み、 45 ~20mm程の亜角機が限じる。 腐植土 1.15 1 1 2 1.15 15 15 30 2 1.15 3-2 〇 南北立 永松度 5.15 4 5 6 15 5.45 2 4 4 10 6.15 2 4 4 10 15.17 会水中位。 あ5~30mm限の亜川森~亜角鉄が主 でマトリックスは中砂~粗砂。 総よる60mBの機が落じる。 6.20m付近は無砂が多く温じる。 7.95m付近にシルトを挟む。 3-3 ① <u>家族</u>意 暗 仲 位 の 6.45 30 Feb. 24.15 4 5 5 14 7.45 30 14 8.45 30 14 8.45 30 14 8.45 9 9 10 28 9.45 9.45 9.25 28 6.45 9.45 10.15 7 6 7 20 30 20 10 10.45 11.15 10 6 9 25 30 11 11.45 12.15 8 10 14 32 12.45 12 13.15 6 7 8 21 13.45 30 13 13.15 3~1 〇 察夜含 水粒度 亜角線が主で・トリックスは中崎・ 組線。 600-80m200分出出質及び輸送的 600-11-15m201-13m20分割に 10.85~11.15m201-13m20分割に 14.00m201-13m200分割と 14.00m201-13m201-13m20 14.00m201-13m20 13.45 14.15 5 5 7 17 14.45 30 暗緑灰~裾な 15,15 6 16 18 40 50 36,15 19 15 11 45 16,45 30 17.15 10 10 13 33 17.45 30 33 17 18.15 10 12 13 35 30 3 18 18.45 19.15 10 12 12 34 30 31 19 19.45 19.45 20.15 7 11 18 36 30 36 20 -0.63 11.50 20.50

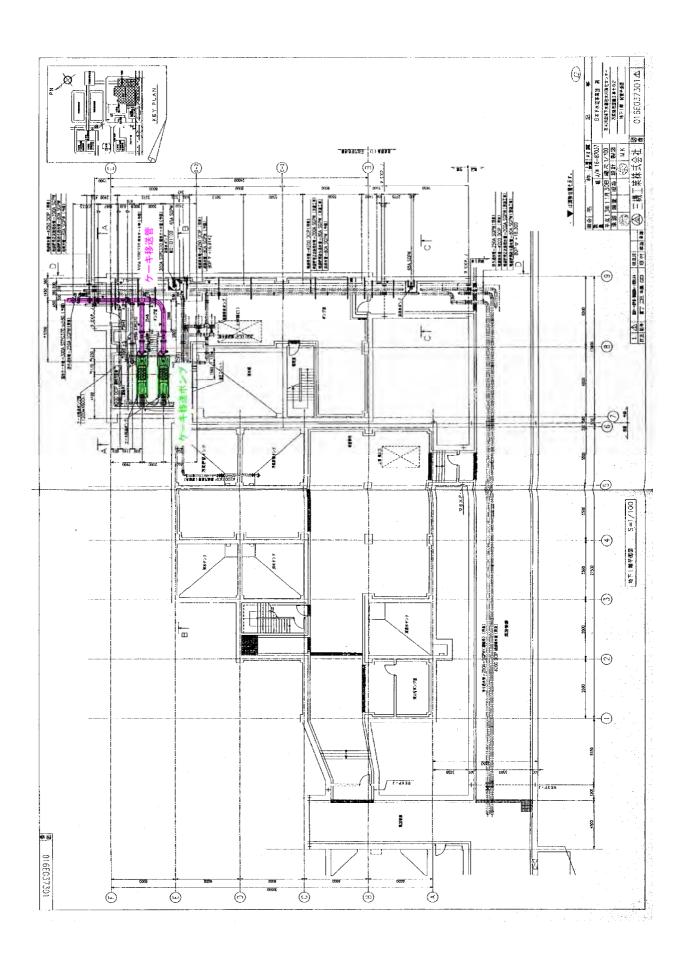
岩	木	川清	域	下水道	地質調査	その	1委託	<u> </u>	質	注	状区	3								
調	査	場	所	弘前	市津賀野地	内	調査年月日					標		髙		1	9. 6	4,4,1	m	,
試	Í	Œ	No.		4 孔		機 種 名	E	Н -	- 5 <u>1</u>	ā	調査	担当	绪		增	田	弘	湛	
掘	進	深	度		2 0.0 0	m			株	式会	社 北1	3本	建設	(=	ンサ	・ル:	タン	٢		
掘	進	孔	径	ø	66	m m			青莉	[県弘]	前市大字	至田字	宮川2	86番	地 1	TEL 1	代表 (34) 17	758	
厚	標	深	層	柱	±	8	银 寮	相対	コテ	地下	深	N	10cm	黄の	λ.			験	-	不攪乱 試料
尺	(m)	度 (m)	厚 (n)	状図	質名	調	観察	密座	シシスト	水	(E)	回 #	打撃 10 20 cm cm	回 数 [30] cm	10	N 20	使值 — 30 4	0 50		番 採取
,	8.74	0.90	0.90		シルト(盛土)	濕 灰	所 4 確点在 含水大		40		1.00	1/ _	3,817							
				~~~~	シルト質ローム	茶	粘性、含水大 細砂、小浮石少量混入		わらか		1.3 0 2.0 0	(4)	1 .		ĬT					
	1 7.4 4	2.20	1.30		C1 . 8=18.0		含水粘性大腐植物点在		bi		2.3 0 3.0 0	(9)	1 1	1						
	1 6.1 4 1 5.3 4	3.50	1.30		シ ル ト 類 砂	暗灰	3.00 m~3.50 m 砂質シルト はさむ 石英砂 浮石 腐植物混入			平内	3.3 0	9	1 1	1	1					
.	1 5.04	_3,8_U.	عادق الماد	o, 0°,	器 於	#B ./Λ	- 	Ф		地下 水位 3.30 m	4.3 C 5.0 O	(1)	ê 6	6		- N-				
- 5				0			石英砂、浮石混入 6.09 m付近シルト少量混っ 7.00 m~8.50m中砂は30				5.3 0	(2)	e   6	6		1	1	П		
•				000	健 群	暗 灰	0.20m~0.30m位 6.90m~篠径大きくなり 最大80%~120%位	0			6.0 C 6.3 O	22	7 7	8	_	1	$\top$	П		
·	,			0 0 0 0 0 0			8.00 m 下部シルト 少量混力 全体的に 見ると粗砂主体				7.00	(3)	13 9	8		$\dagger$	1		$\parallel$	
-	1001	P 7 0	4.90	$[\mathcal{D}, \mathcal{D}]$	G-S1, 8-2	ō,	の砂礫である 崩壊激しく脳進困難	ф			8. 0 0 6. 3 0	10	11 8	6		+	1		1	
	10.54	0.70	3.50	0			碟長大50%.~80%				9,00	2)3	8 1	10		-		$\Box$	$\dashv$	
- 10				g.	G-52,0	19.0	石英珍、小存石混入 所々玉石はさむ	0			1 0.00	23	12 8	8		1	-	$\square$	$\dashv$	
· vert	deli	S. #4	<b>建</b> %	3/2	森海り粗砂 発売はかった	· 康 · 灰	1	layi.	17760		1 1.0 0	10	9 1	0 10			1	\$ (>) .	jagar (j	
							-	25	-		1 2.00	0	14 1	4 11		+	+	+	$\dashv$	
	6.4.4	13.20	4.50								1 2.3 0 1 3.0 0	49	75 1	3 13	$\vdash$	+	+	+	+	
. !				0,0			機最大 100%~ 150 % 5 14.00m下部砂質シルト	4			14.00	12s.	131	4 16		-	-	14	$\dashv$	
- 15				0 °			はさむ 0.40m 位				1 4.3 0	50/24	21	3 19		+	+	$\vdash \downarrow$	,	
				o.°°.		階灰	15.50m~16.00m付近 細砂はさむ	非常			1 5.2 4 1 6.0 0	50/15	35	5		-		$\dashv$	$\dashv$	
				, °, °,	砂礫	1	色は背灰に変つている 17.80 m ~ 砂質 シルト	lic.			1 7.0 0	50	28 2	1		-	+	+	+	
				0.0		青灰	はさむ 1800m付近より寛灰で	密			1 7.1 6	50_	23			$\perp$		$\downarrow \downarrow$	,_	
				0.0			石美砂、中砂多量はさい	1/4			1 8. Z 3 1 9. C 0	23 50 29	19	15		+	+-	+ +	-	
- 20	-0.35	20.00	6.8 0	000							1 9.2 9 2 0.0 0 2 0.2 7		20	-		-	-		$\dashv$	-
- 20			1.								2 0. 2 7	21				-	+	1-1	$\dashv$	.
																1	_ _	1-1		4
-			'													_		1_1	$\sqcup$	1 1
																			Ц	
-					ĺ												$\perp$		Ц	
_																				
<del>.</del>								1						-						
-		1				-	и	1												
-								1										T		
- :´								1							-	$\sqcap$	-			1
備		<u> </u> * :		<u> </u>	1 .	1	1			試料	採取方法	の記号				•	<del>-!</del> -	ソング	<del>ーー1</del> 型サ:	ンプラー

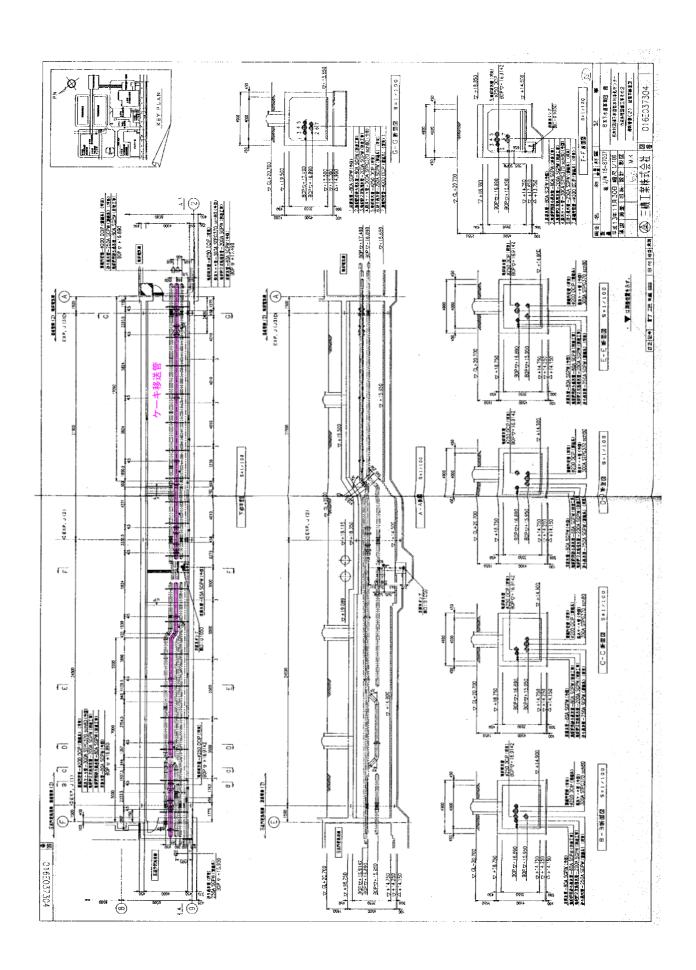
# 別紙 3 脱水污泥供給箇所

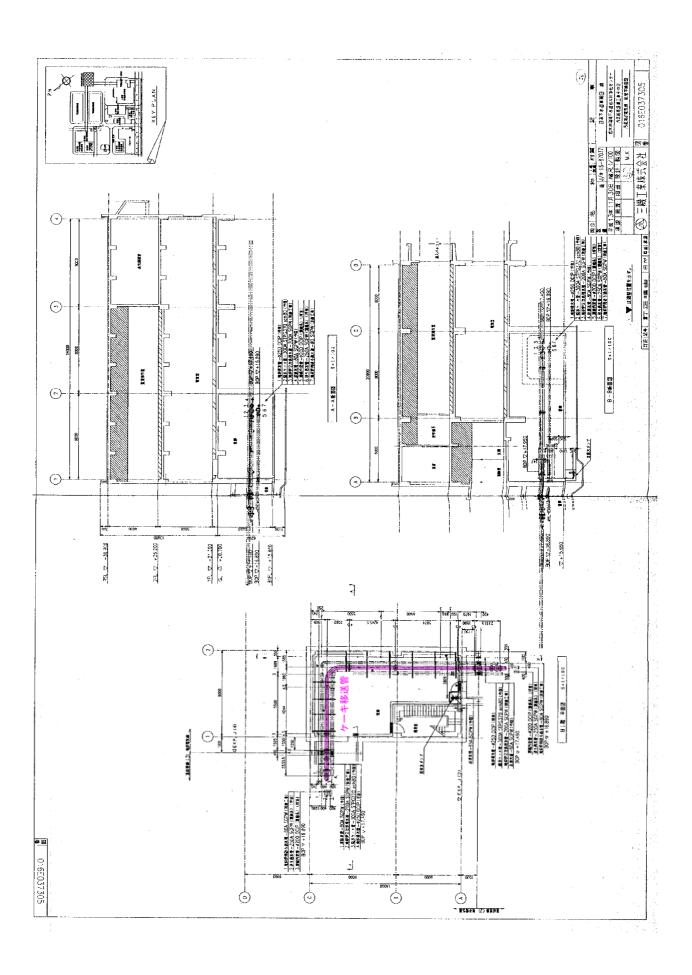
# ①ケーキ移送ポンプ配管

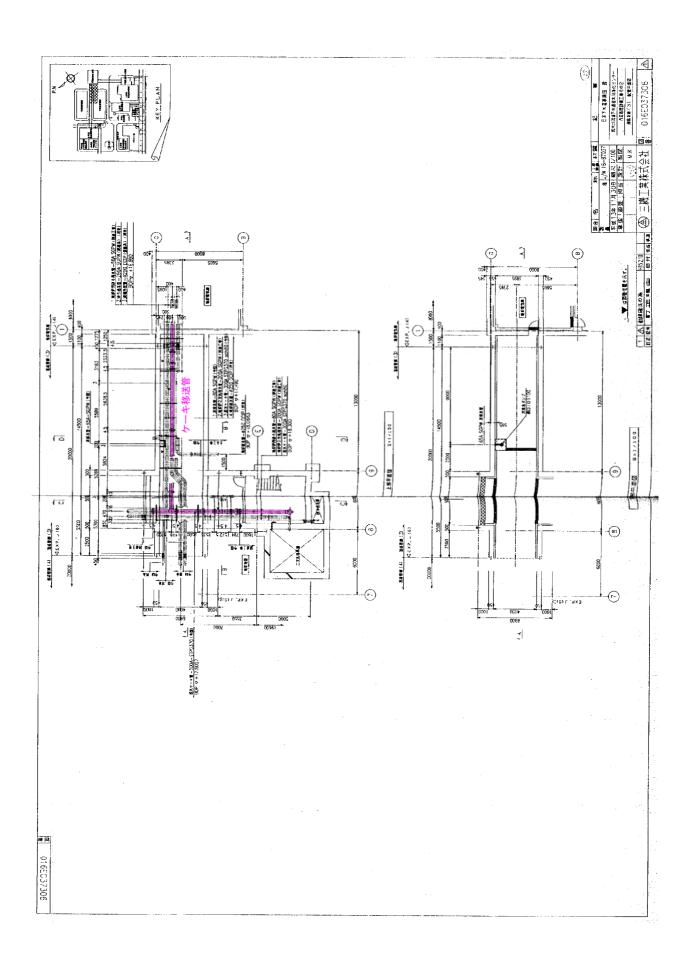


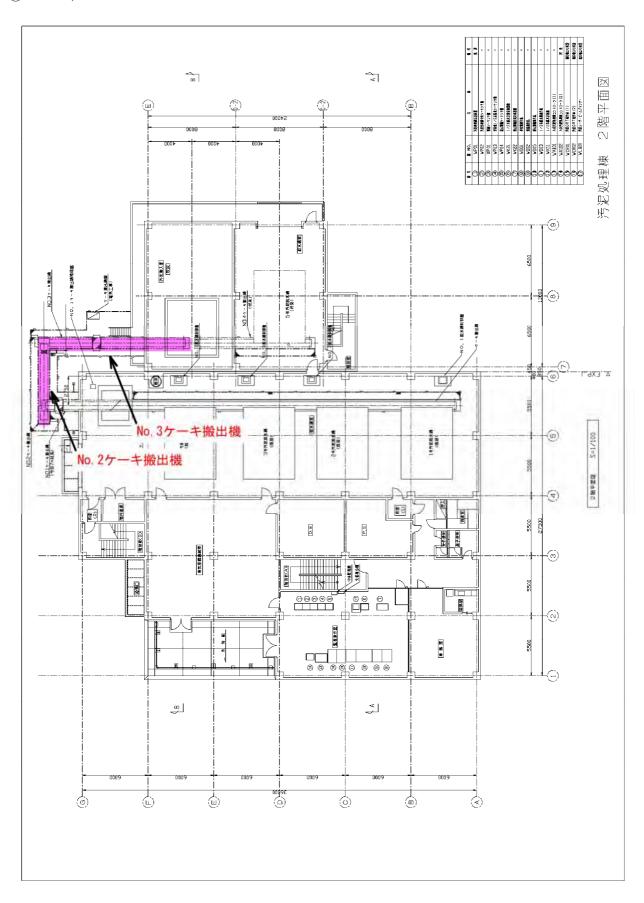


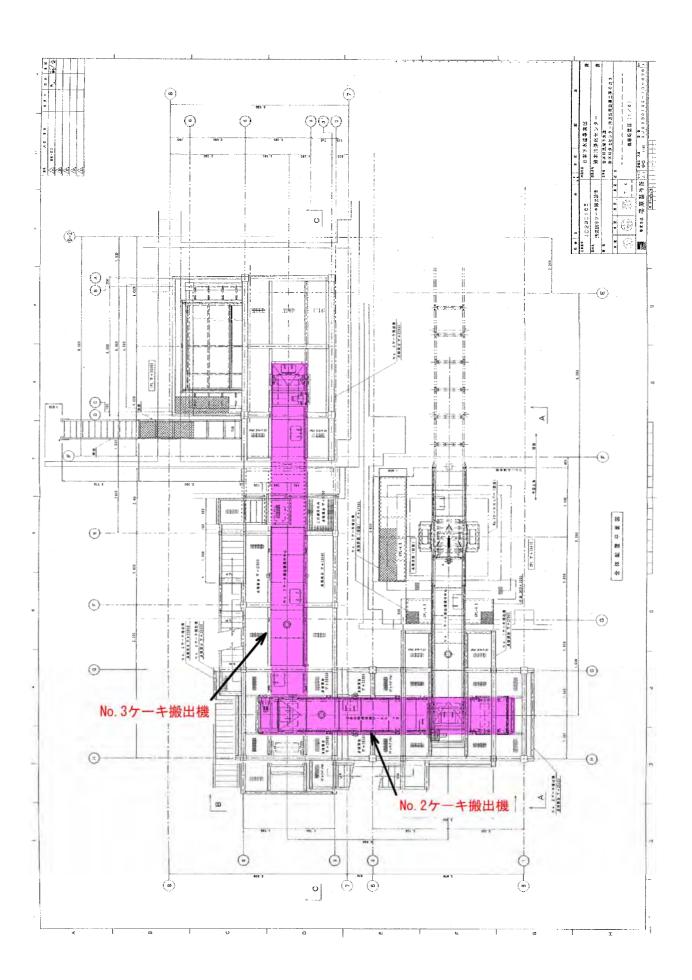


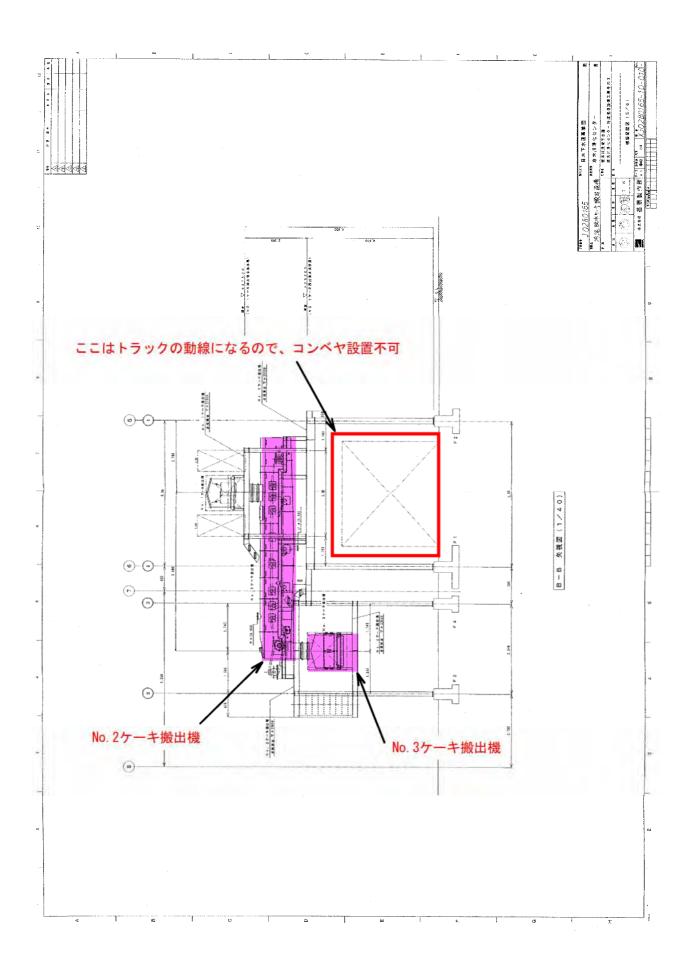


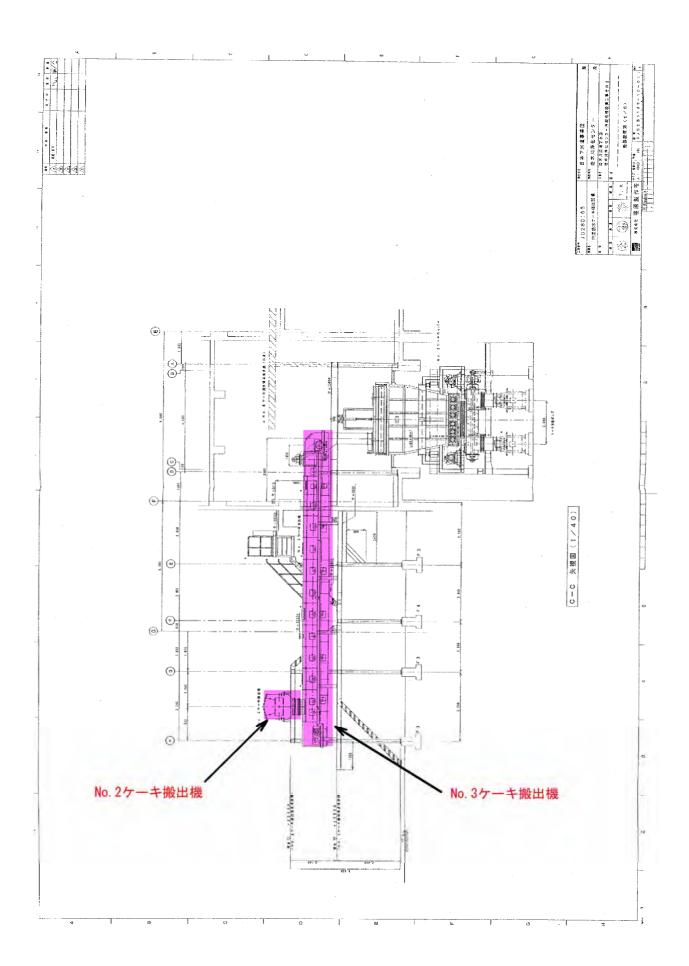


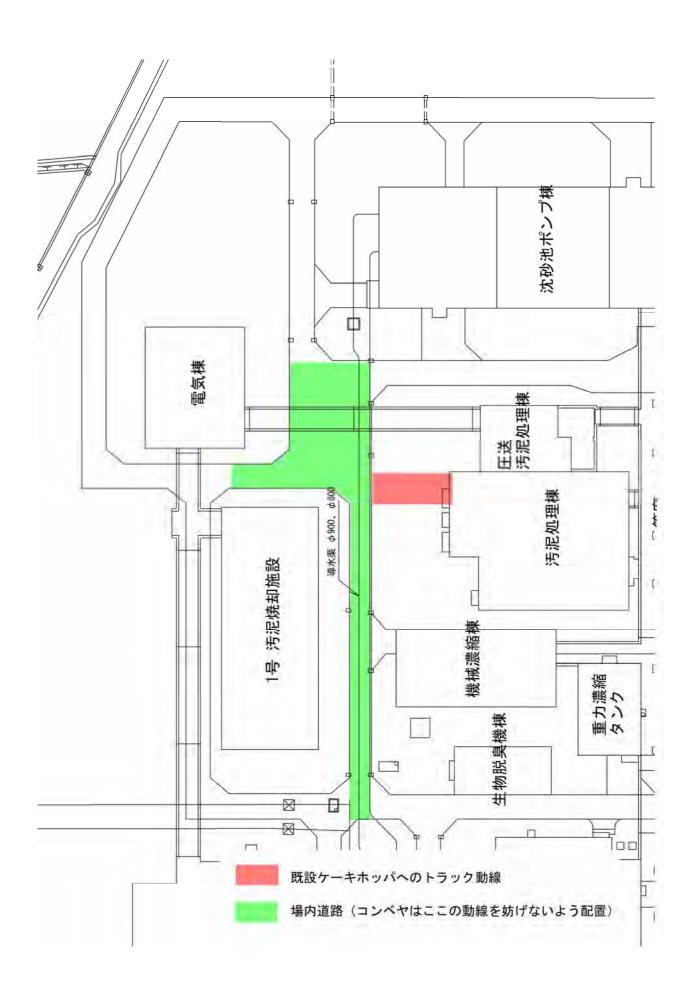


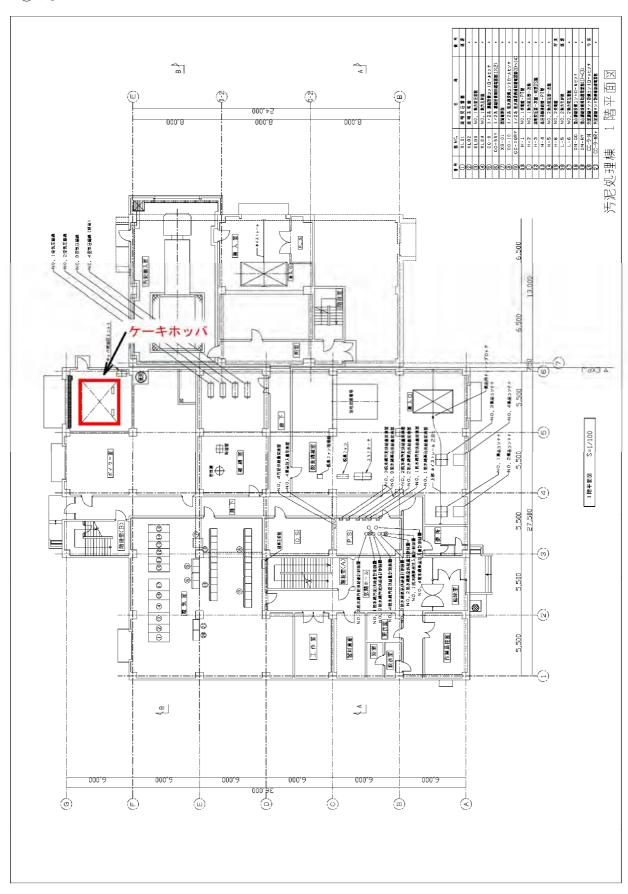


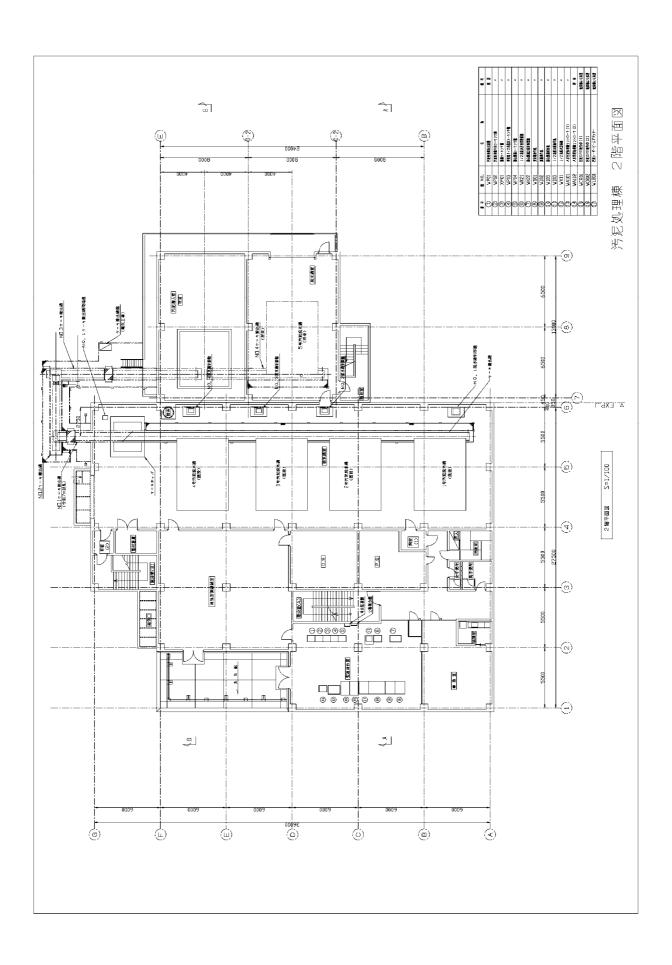


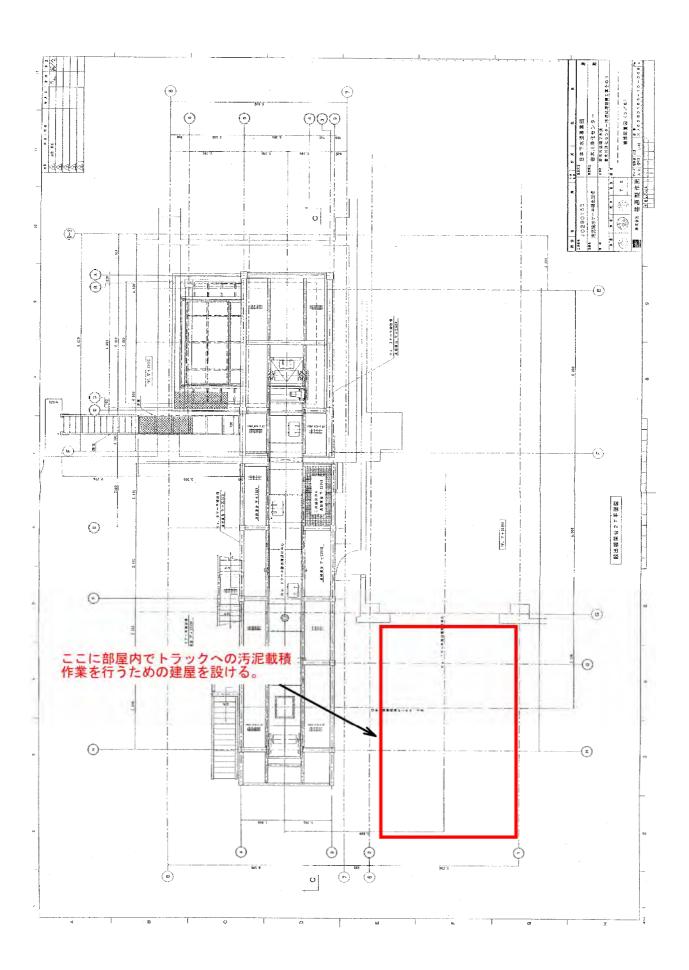


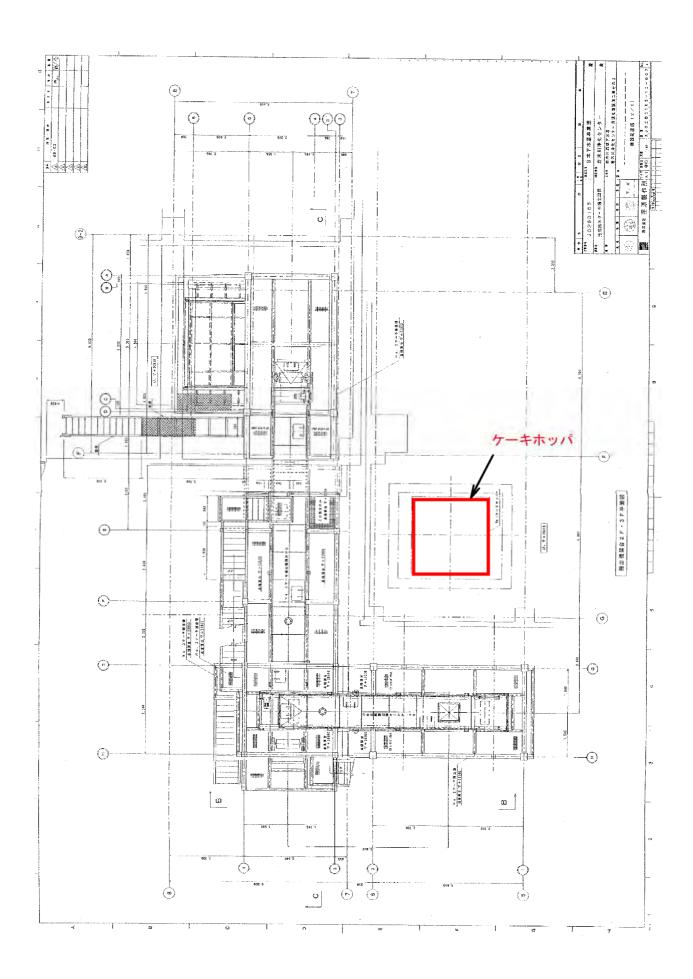


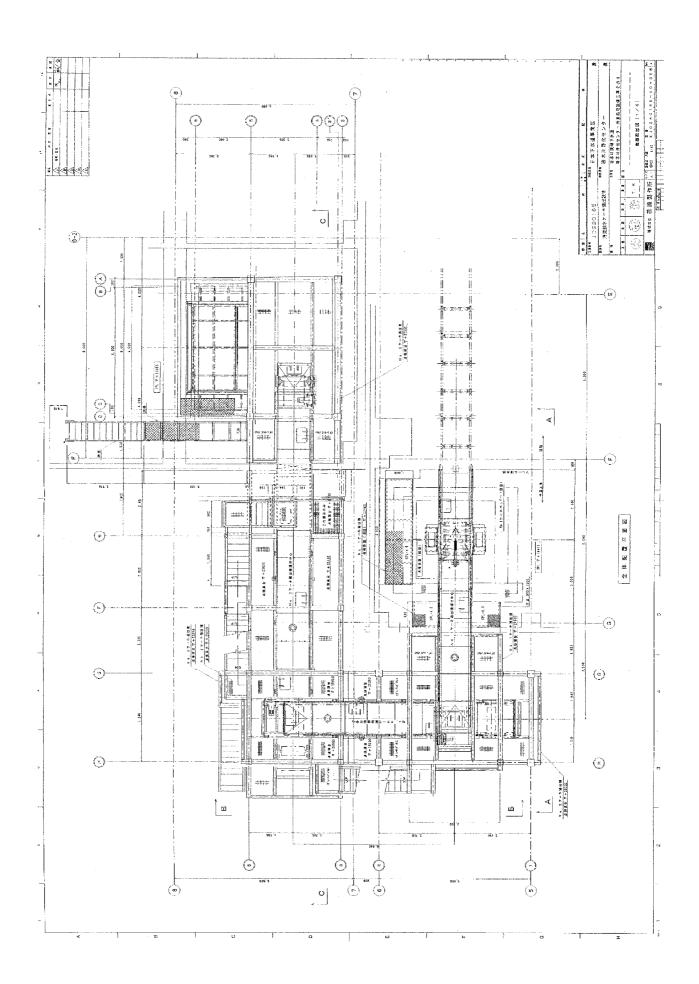


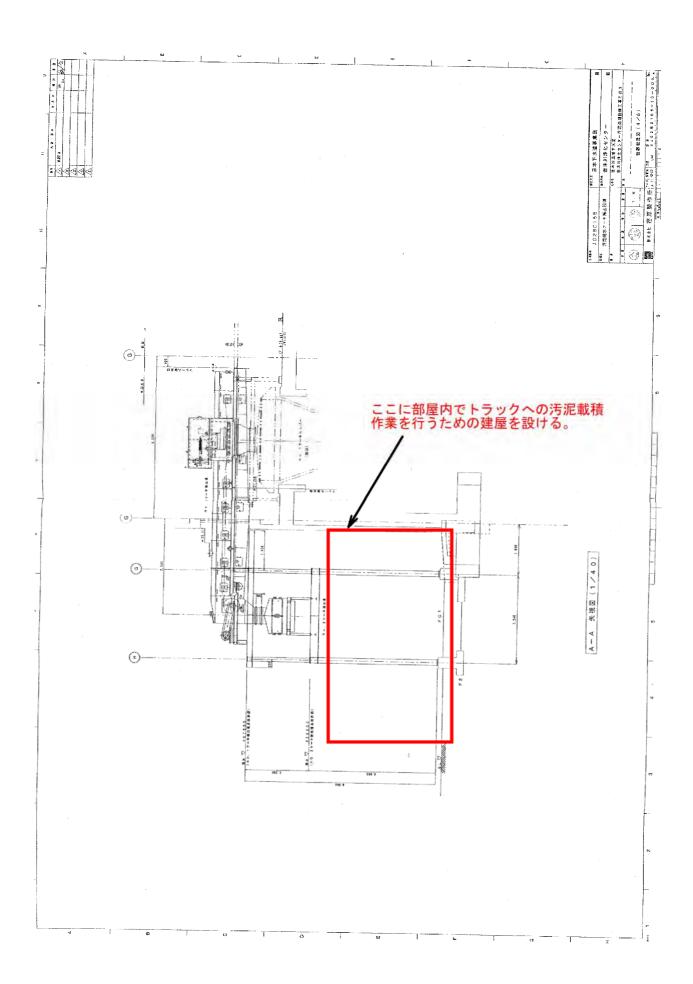


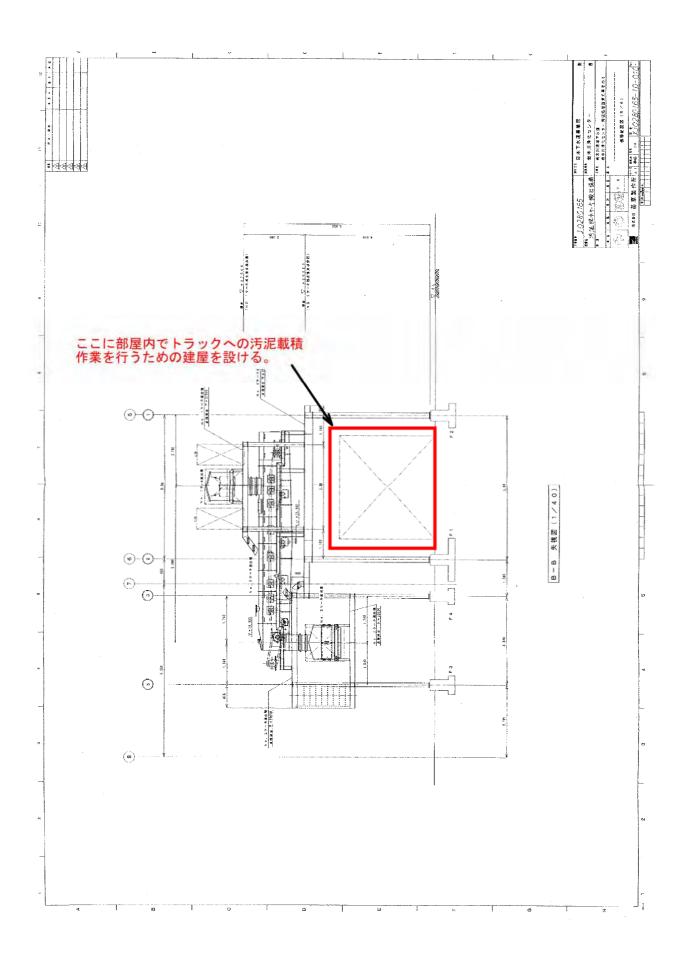


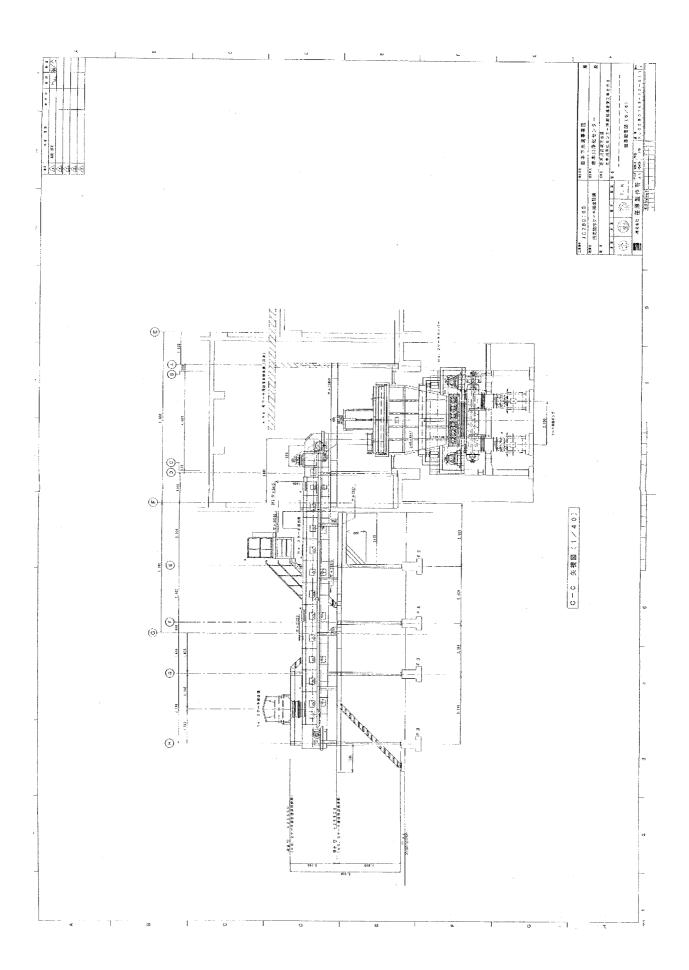


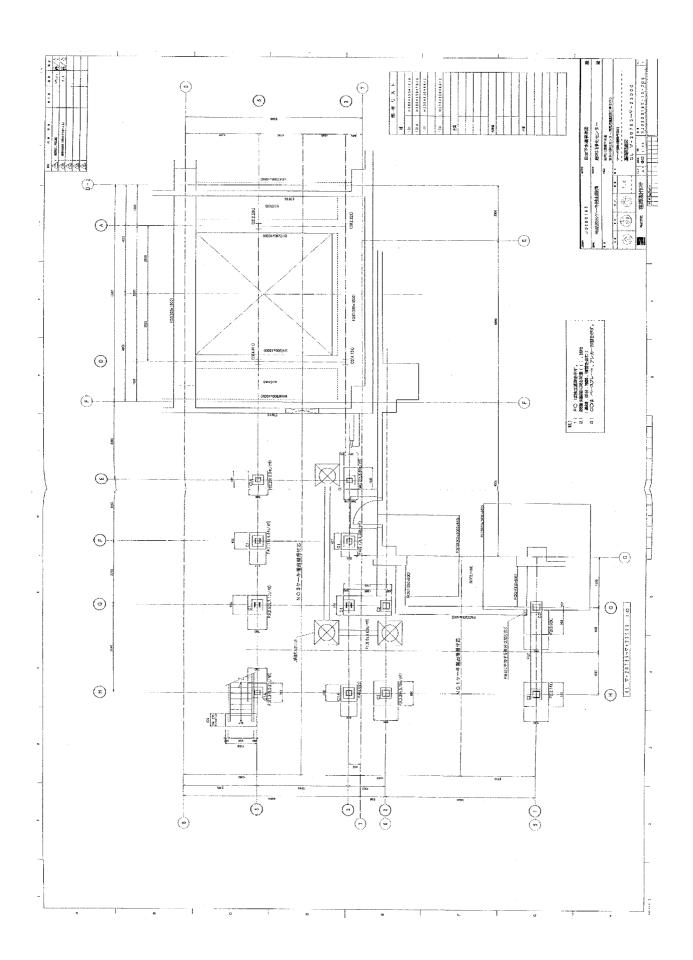


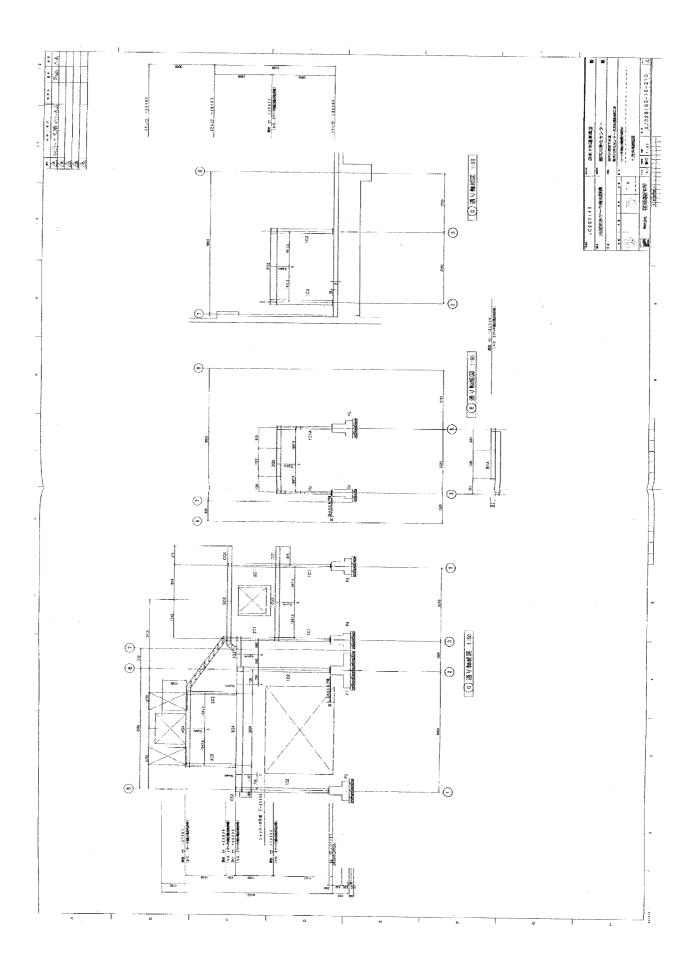




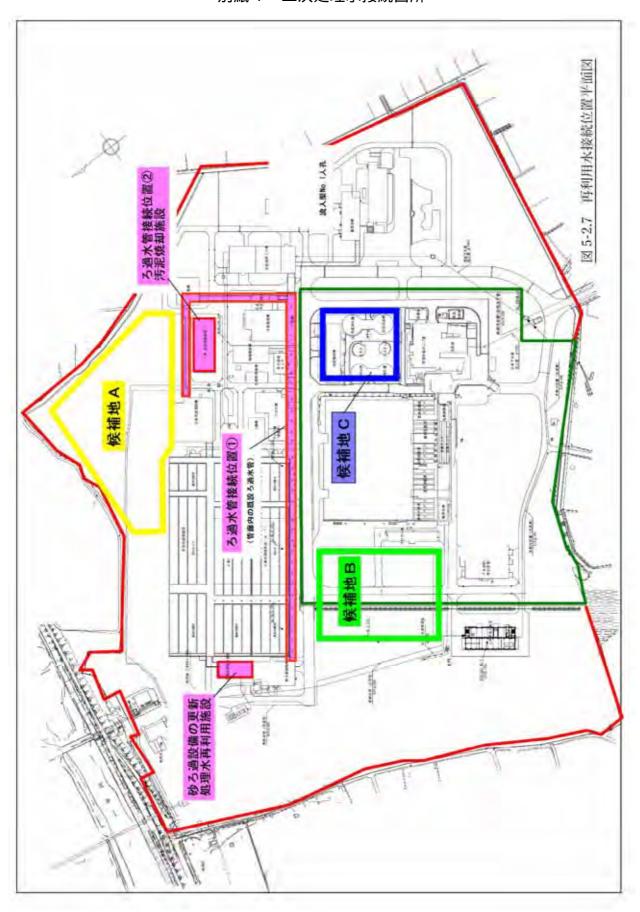


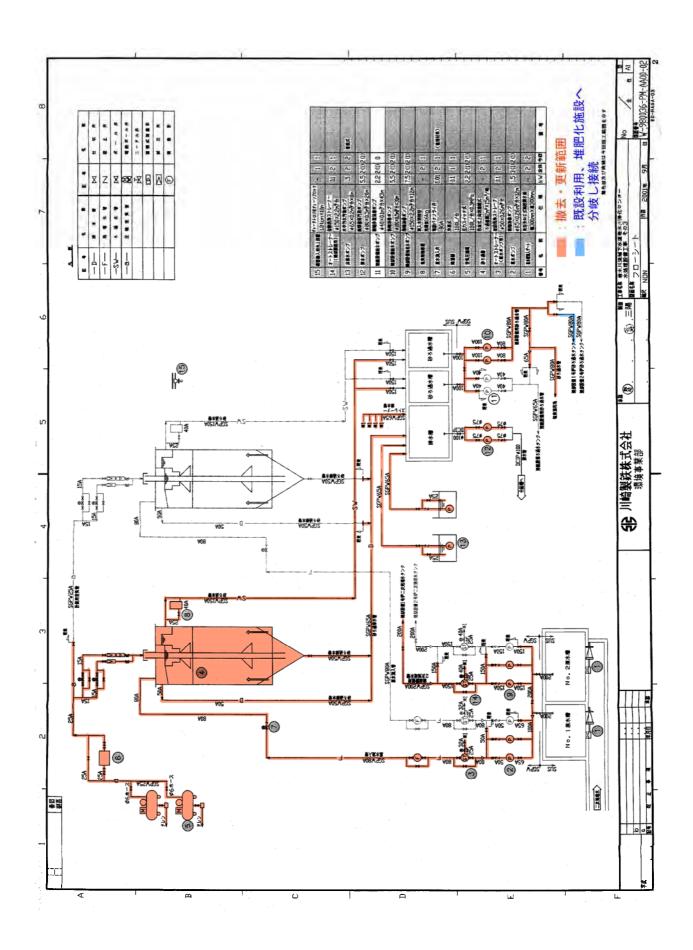




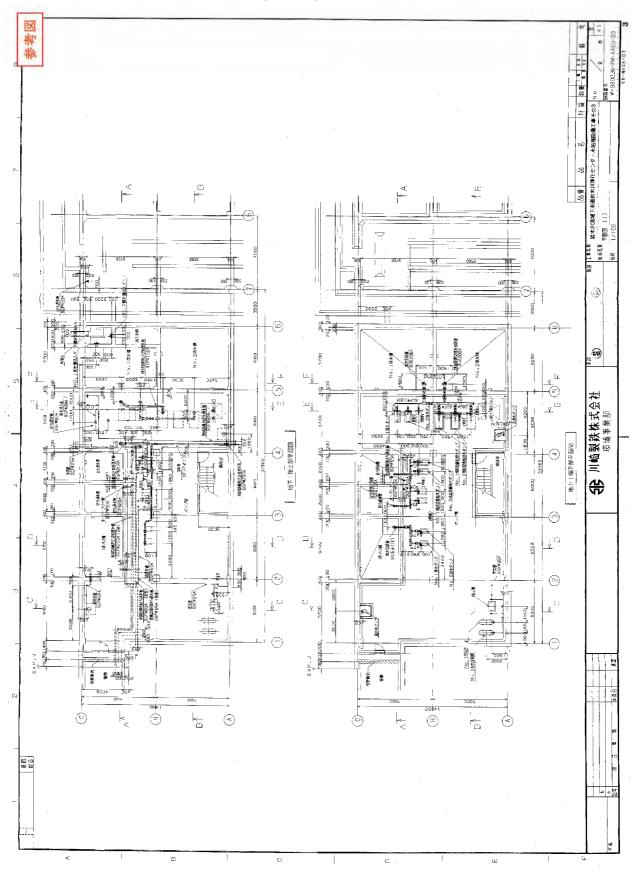


別紙4 二次処理水接続箇所

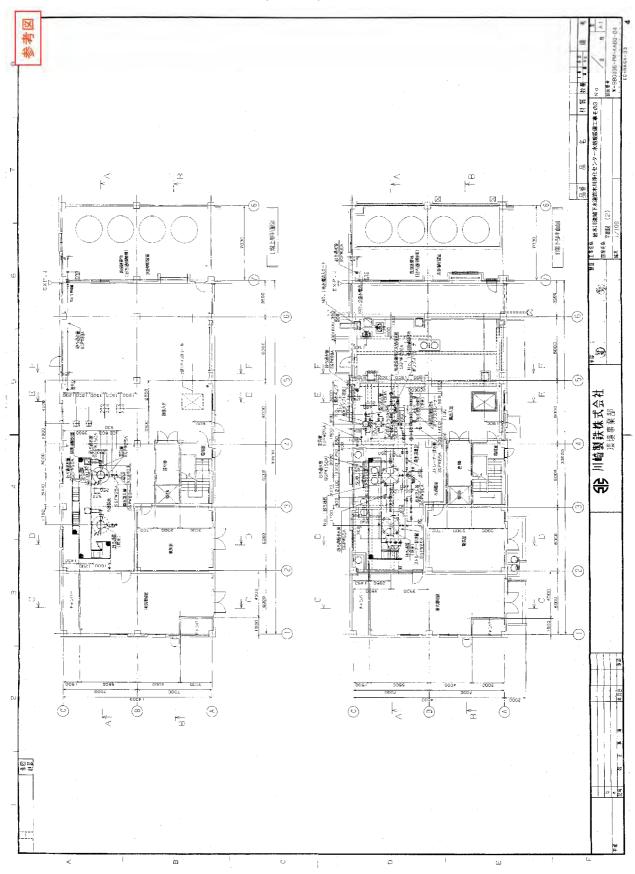




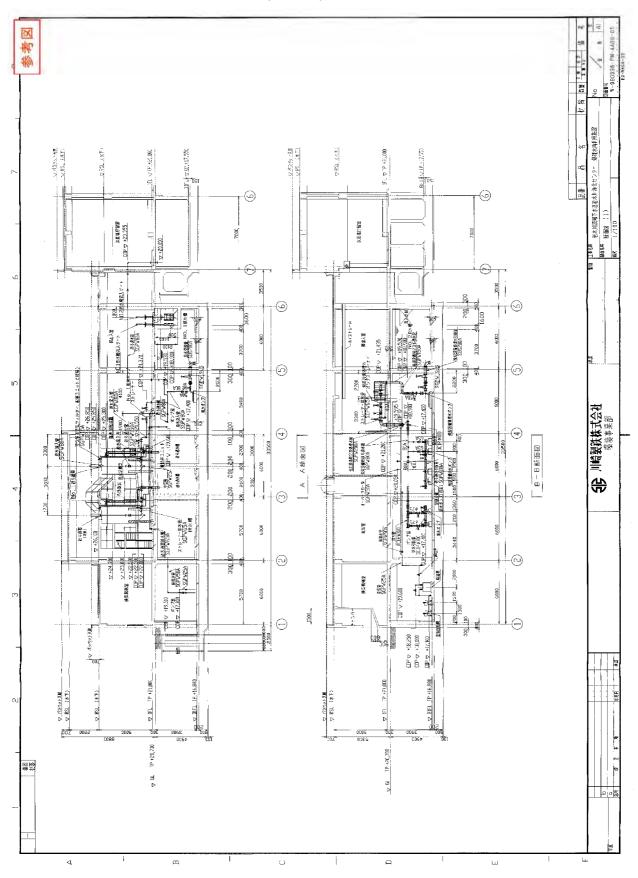
砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面(1/3)



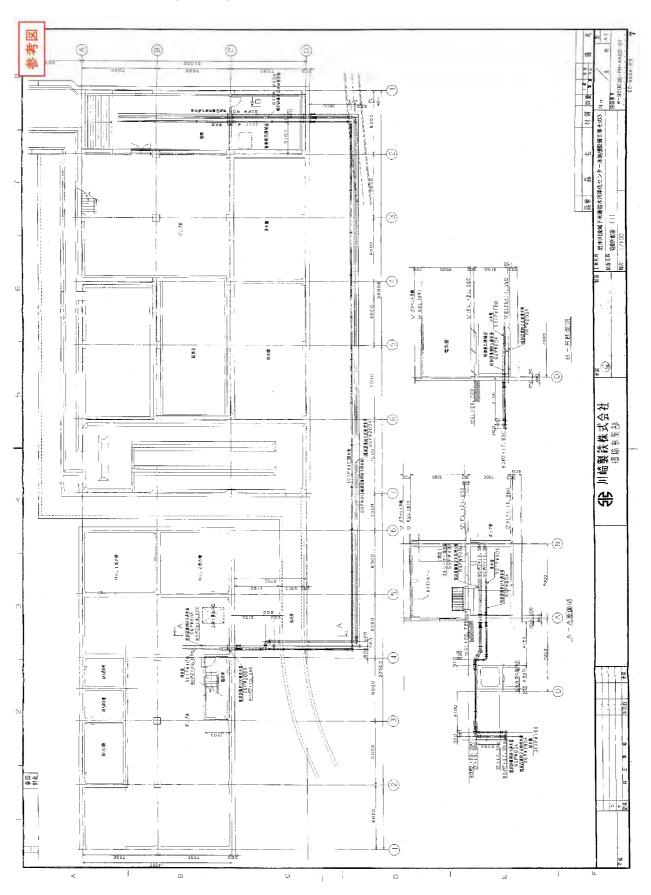
砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面(2/3)



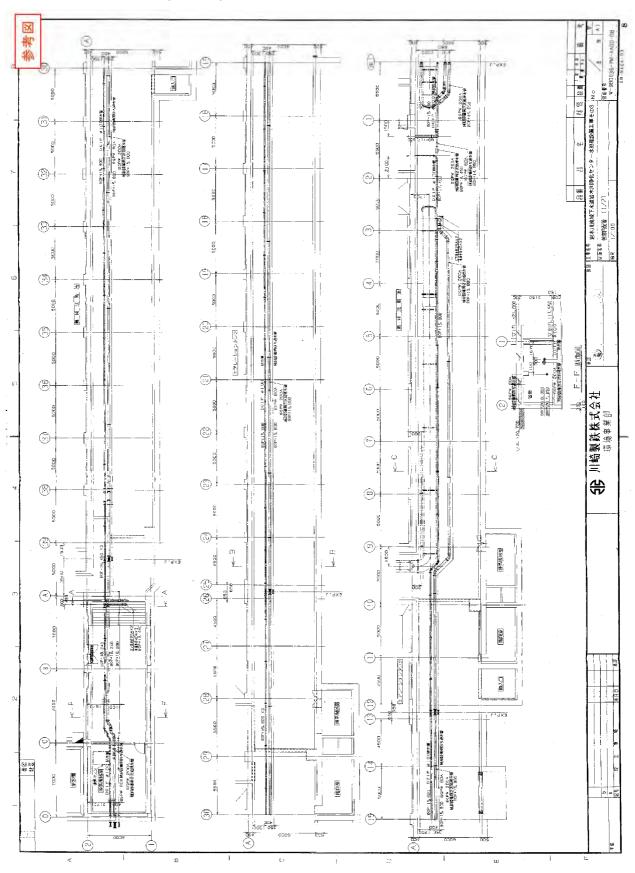
# 砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面(3/3)



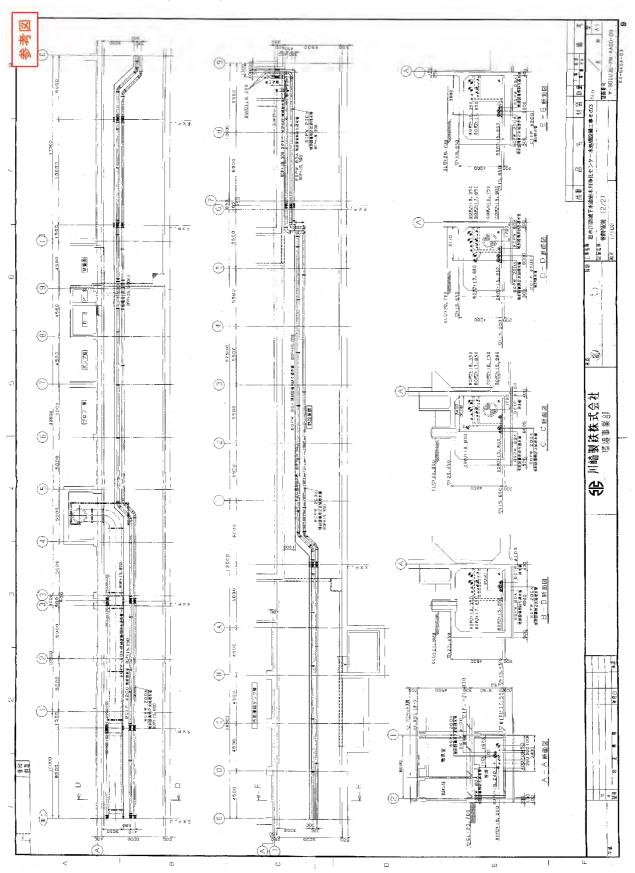
# ろ過水管接続位置 図面(1/6)



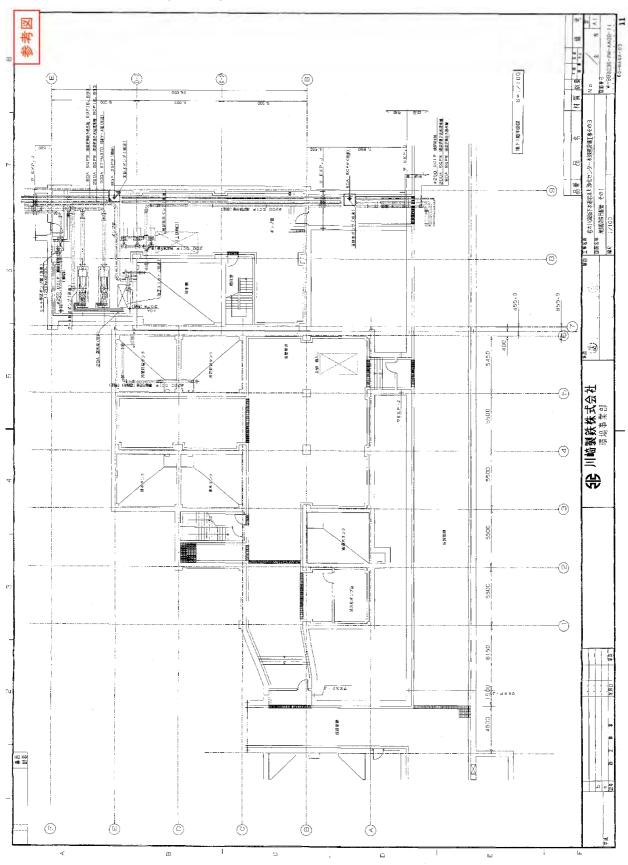
# ろ過水管接続位置 図面(2/6)



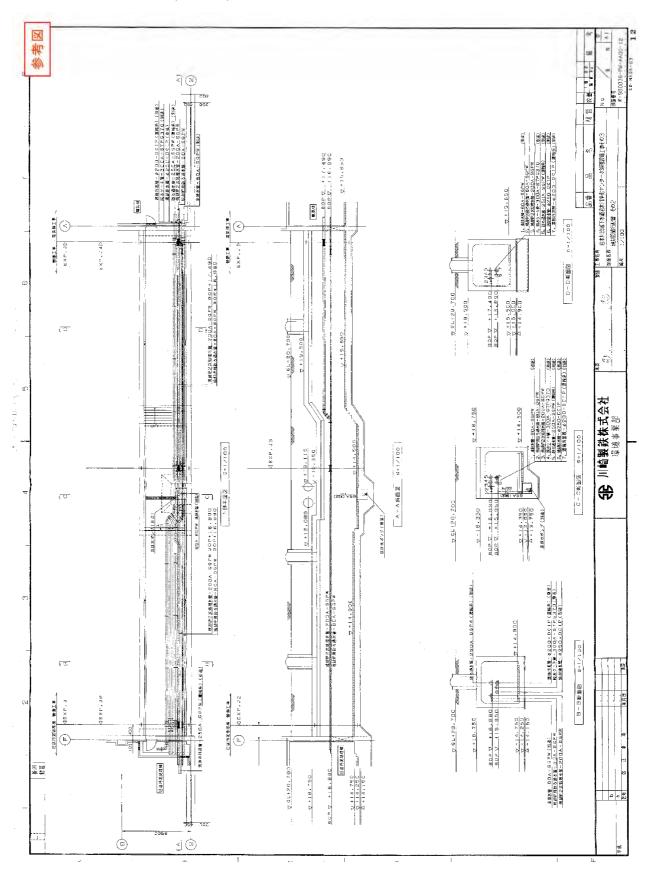
## ろ過水管接続位置 図面(3/6)



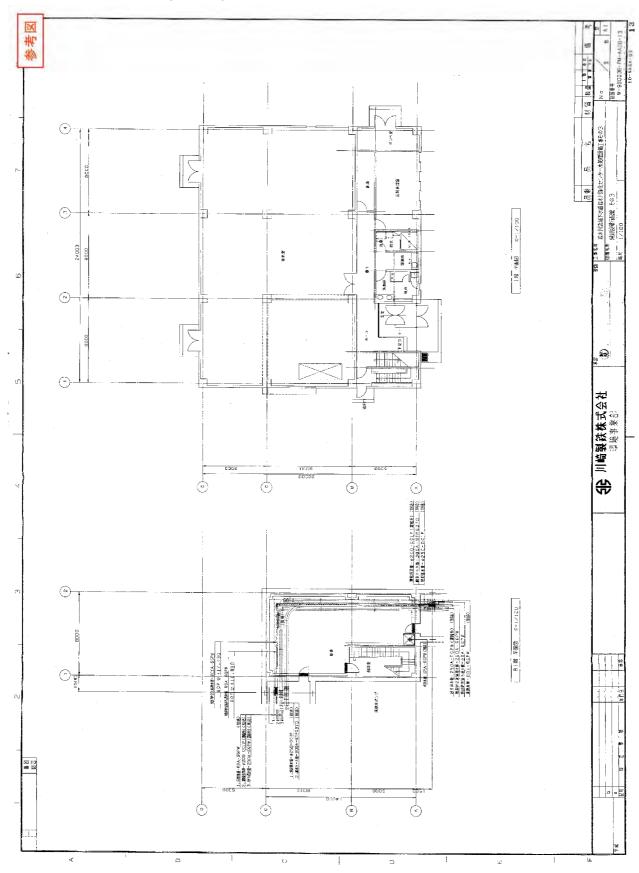
## ろ過水管接続位置 図面(4/6)



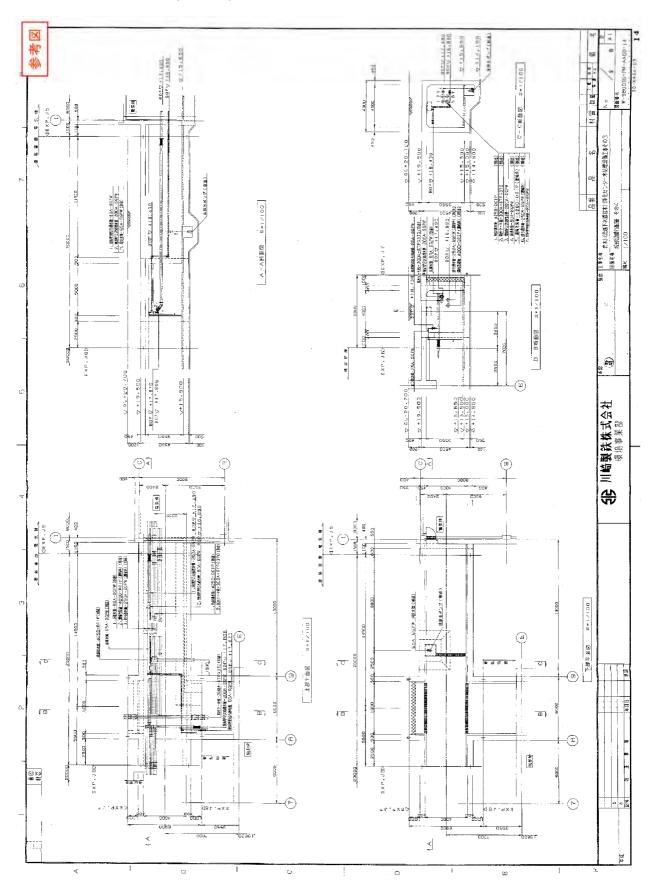
#### ろ過水管接続位置 図面(5/6)



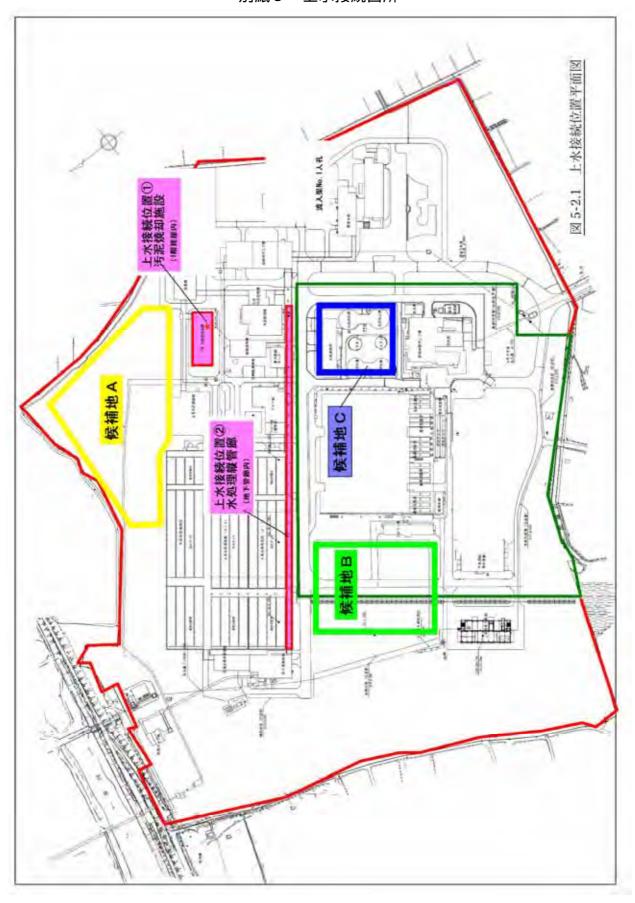
## ろ過水管接続位置 図面(6/6)

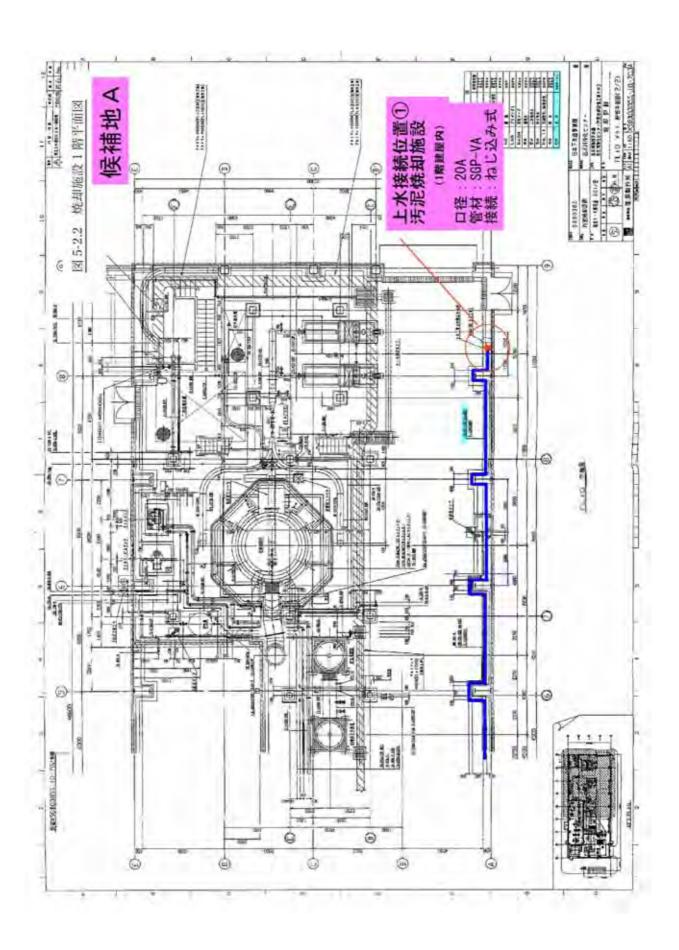


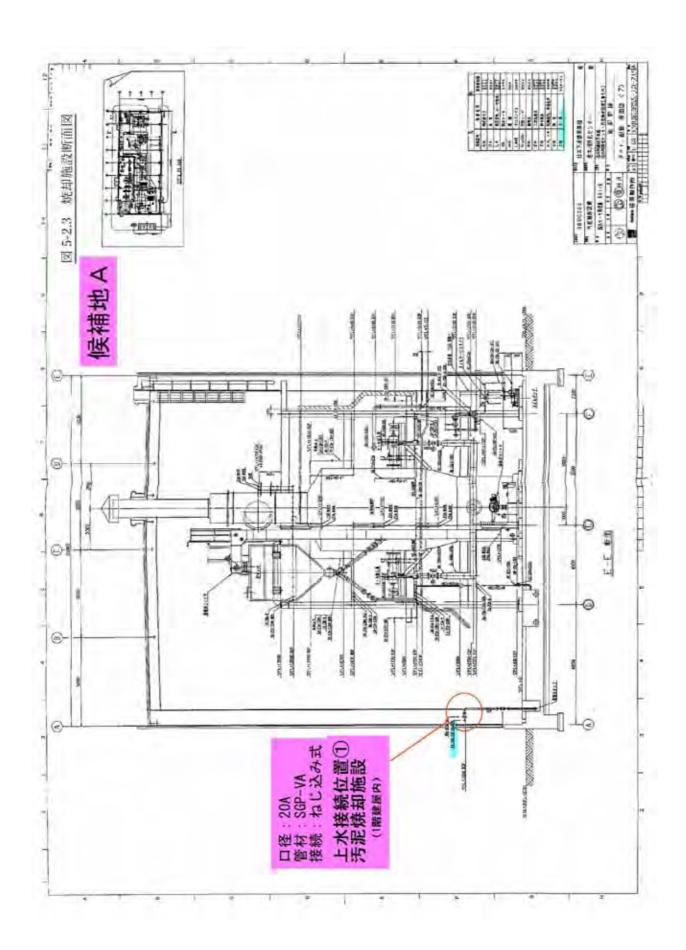
# ろ過水管接続位置 図面(1/1)

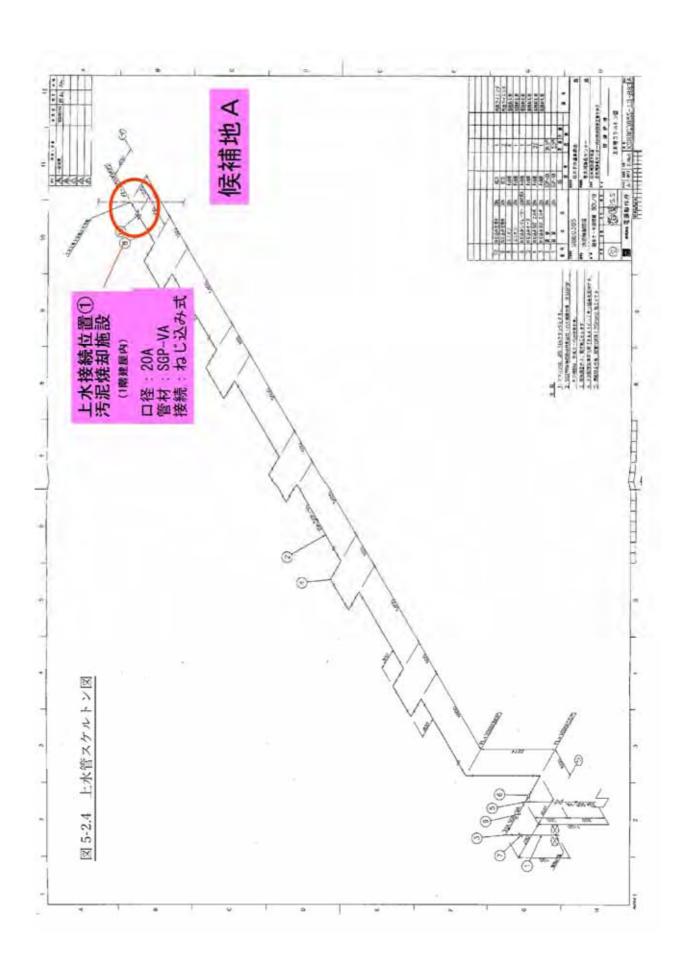


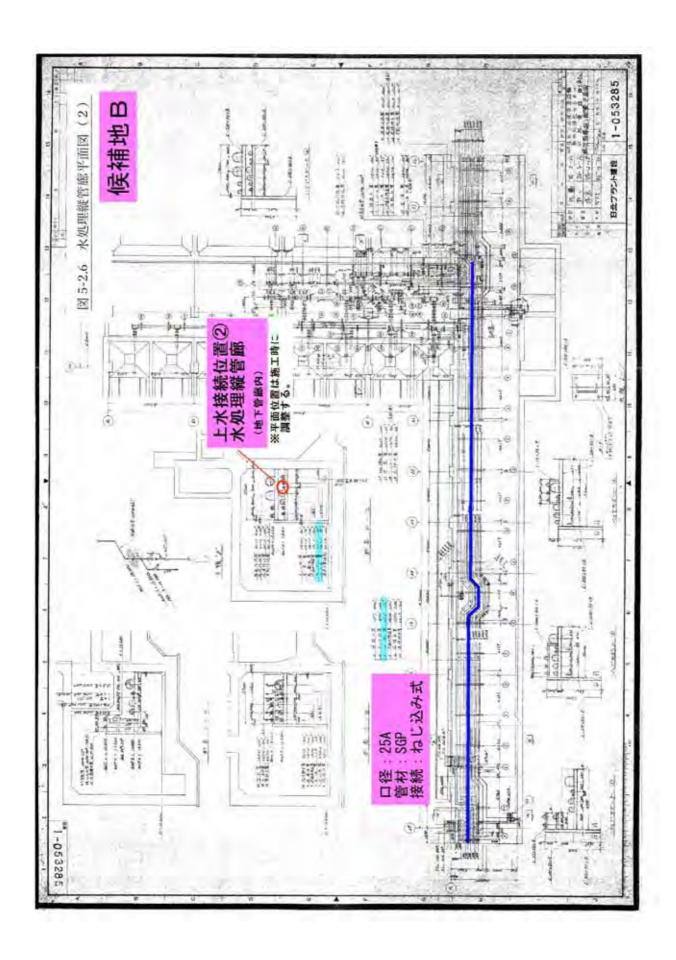
別紙 5 上水接続箇所

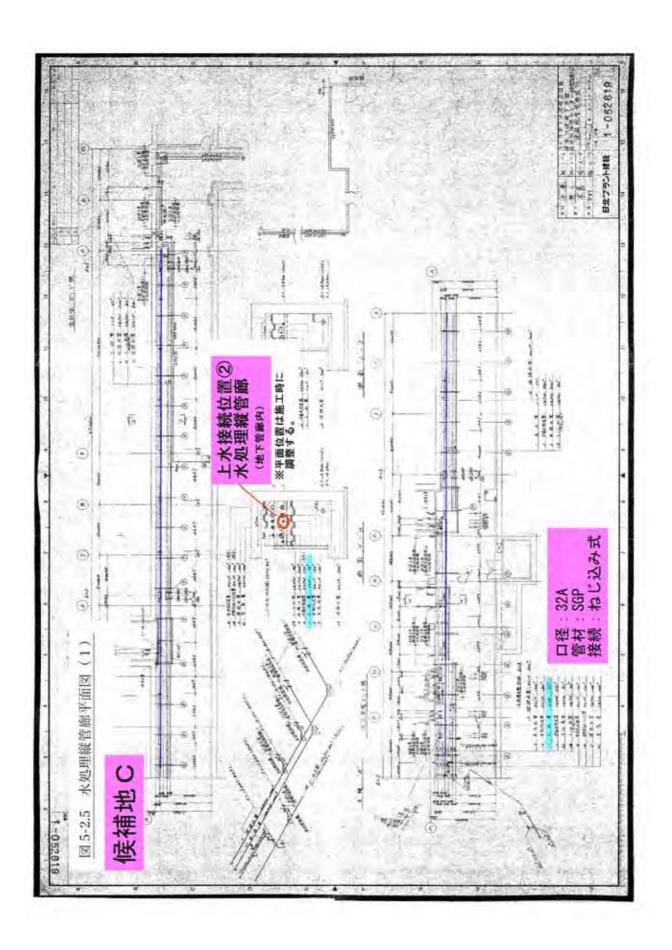




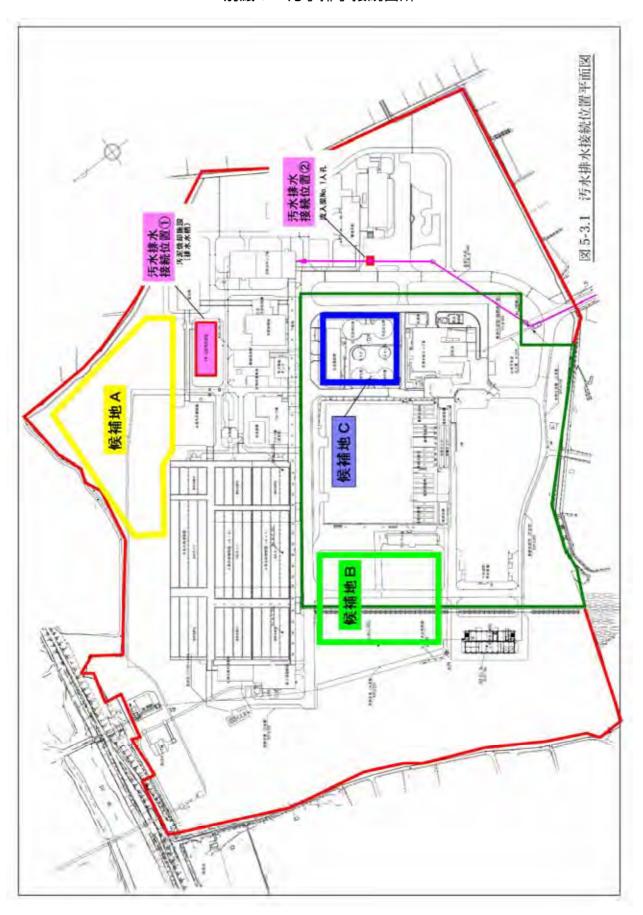


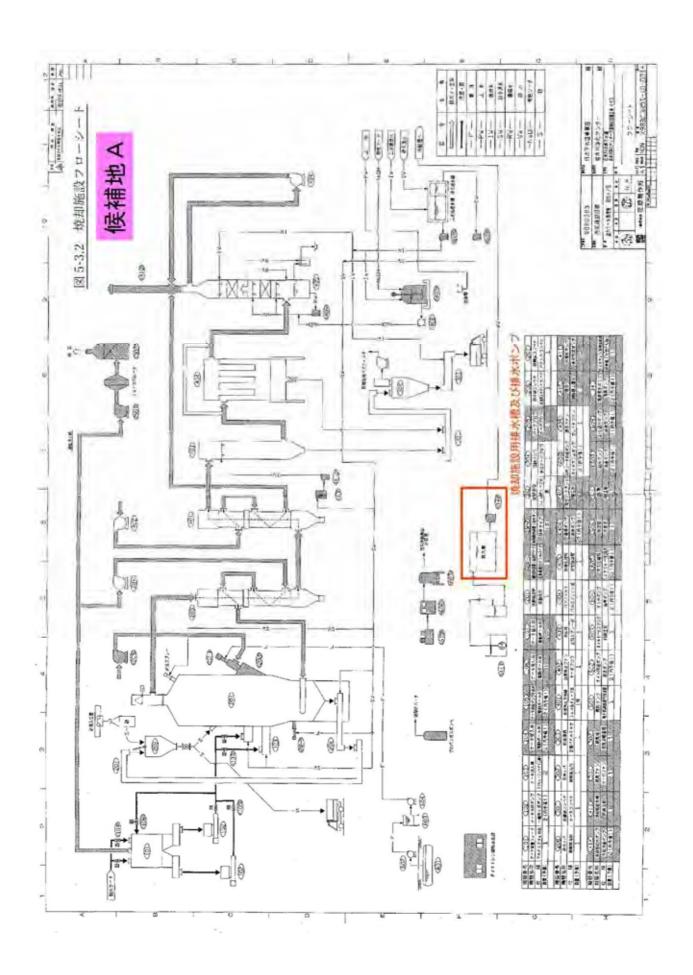


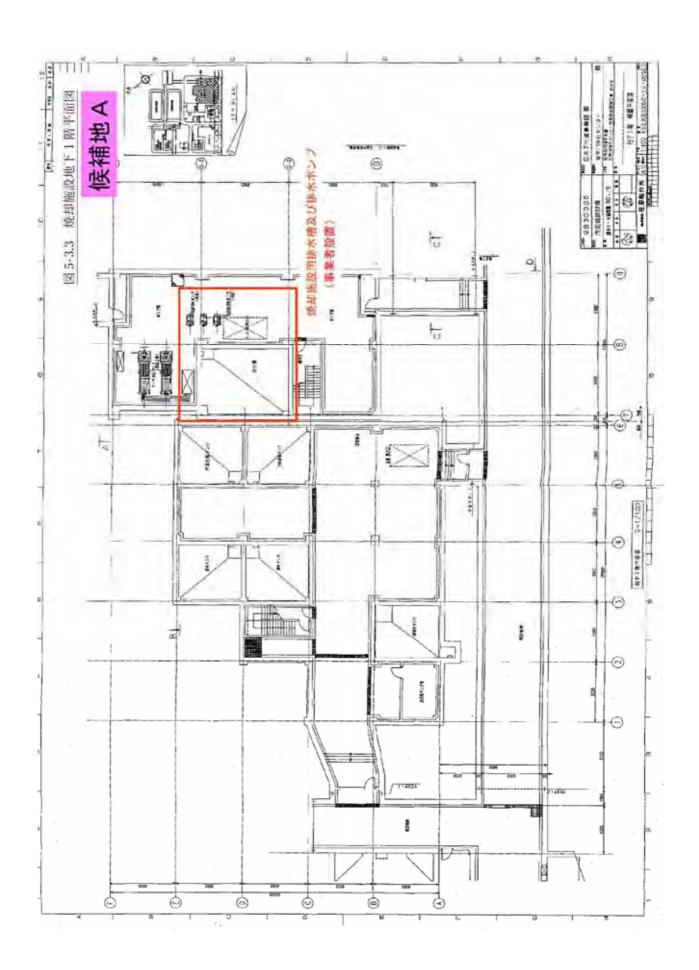


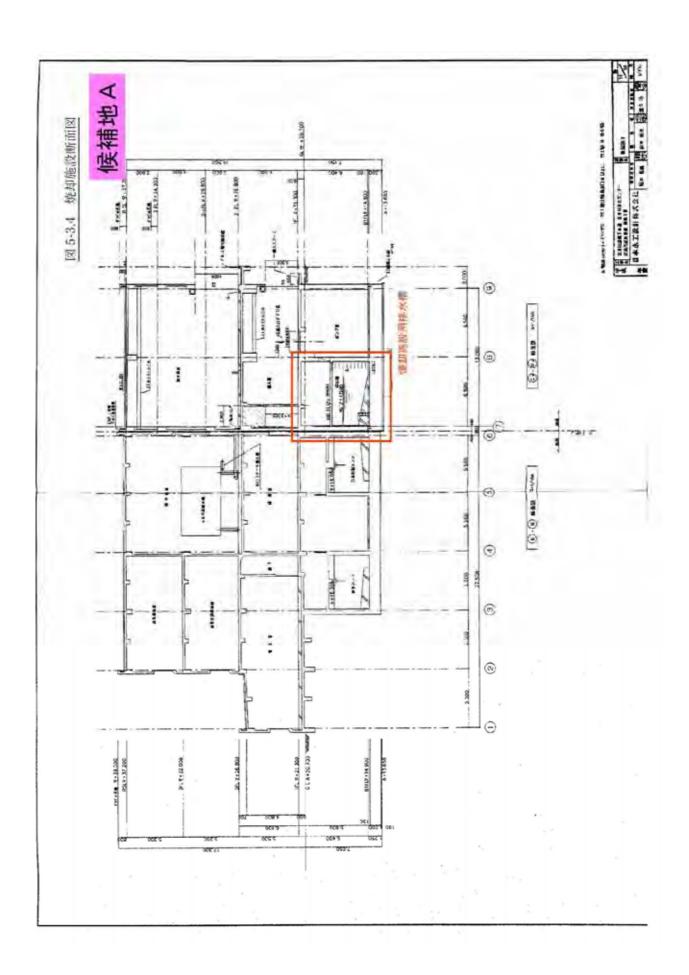


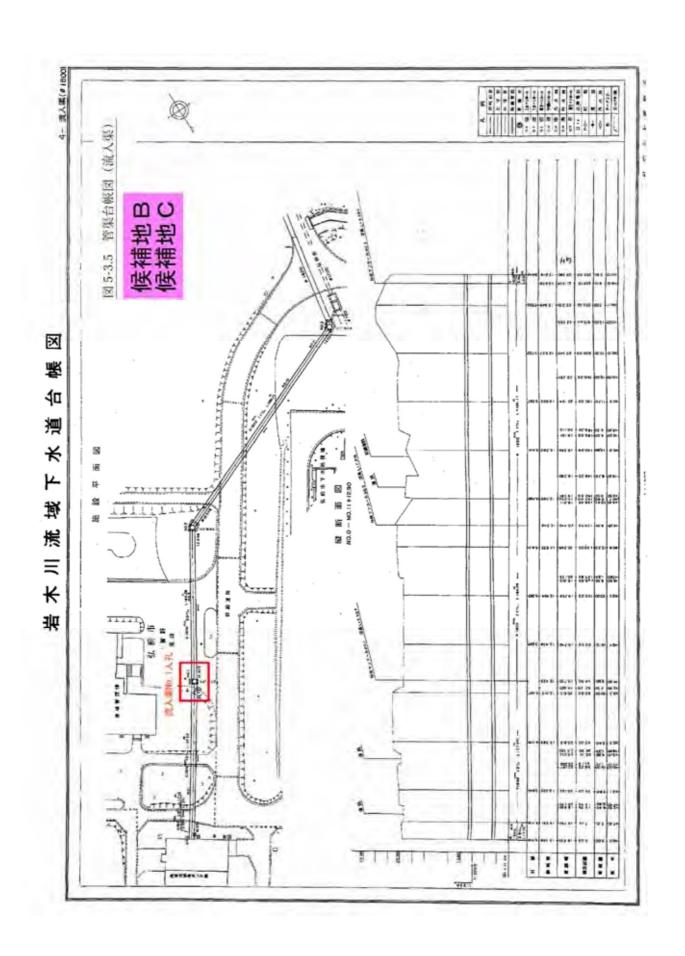
別紙6 汚水排水接続箇所

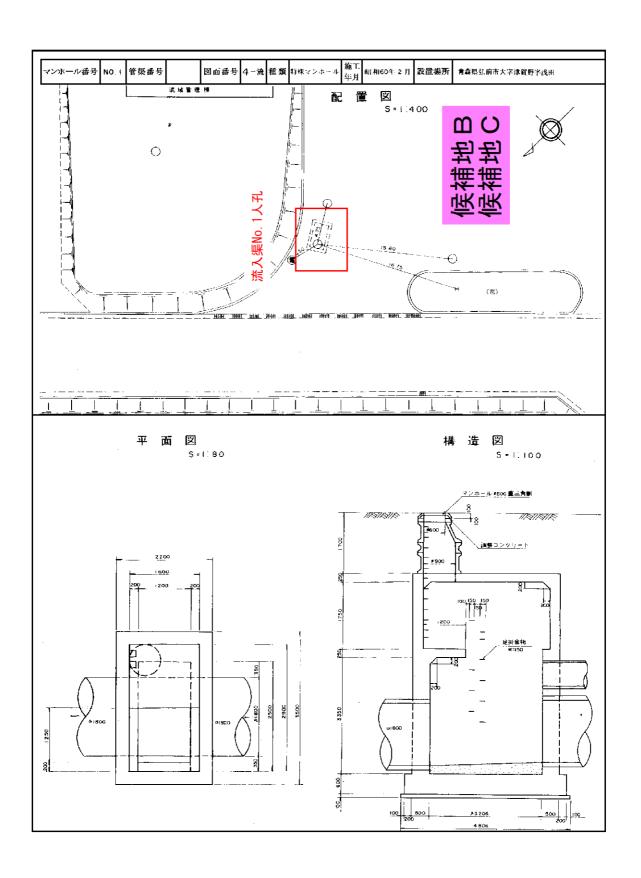




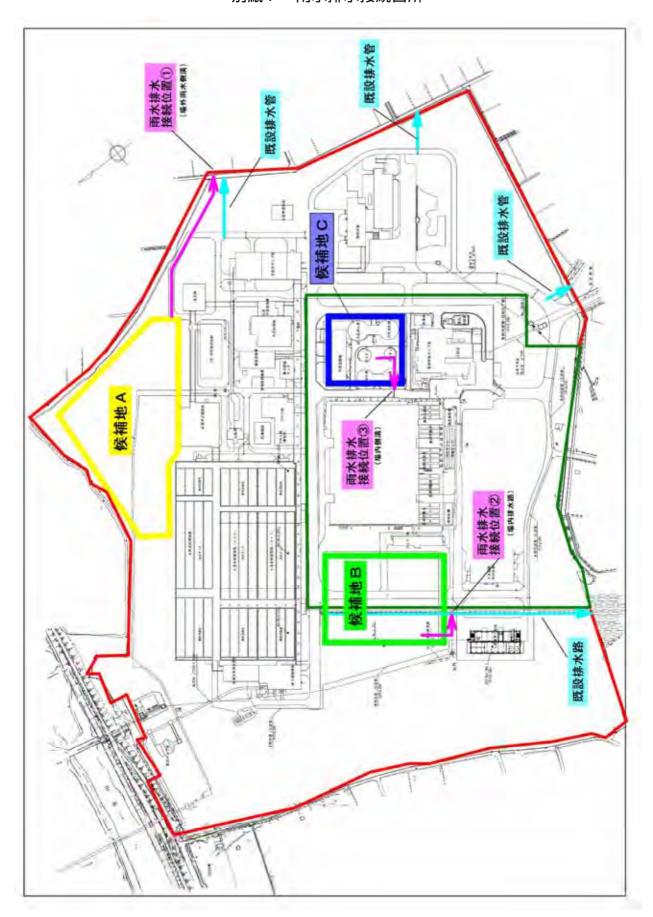


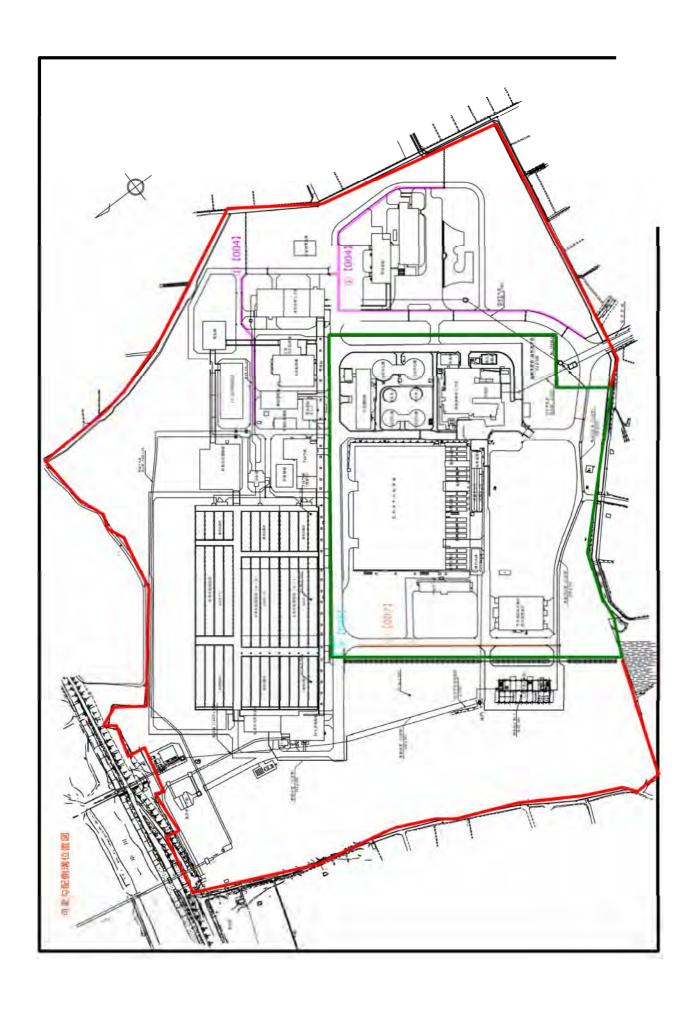


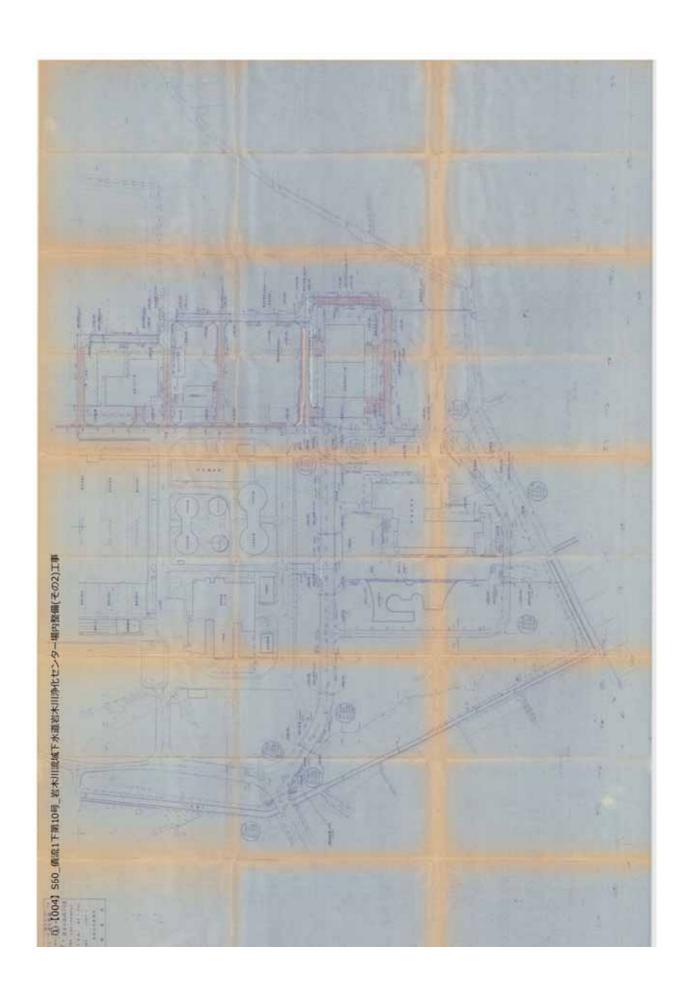


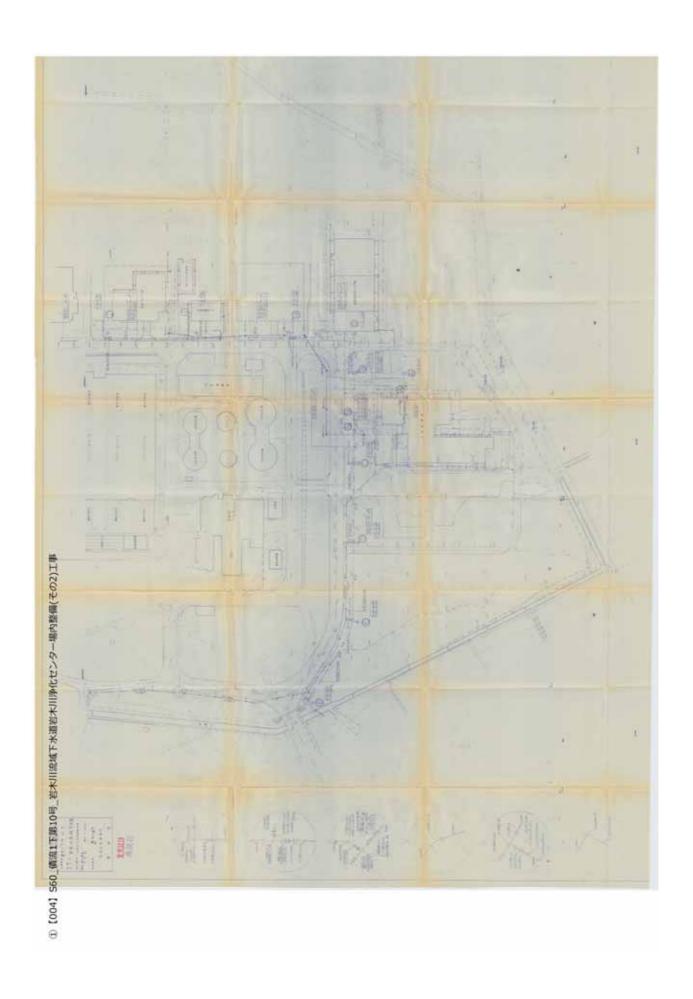


別紙7 雨水排水接続箇所

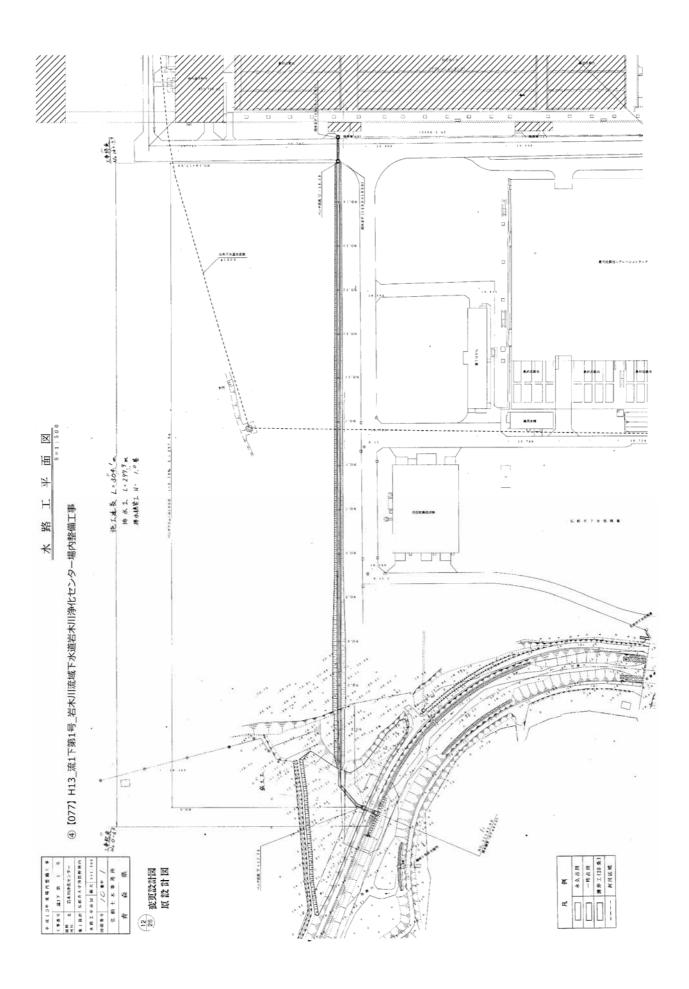












別紙8 電気設備 責任分界点

